

**平成28年度  
生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進行管理検証報告書**

**平成29年10月  
生駒市**



## 目次

1 生駒市まち・ひと・しごと・創生総合戦略の取組状況評価について	1
(1)生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1
(2)総合戦略策定にあたってのこれまでの経緯と今後の進行管理について	2
(3)各取組項目の評価方法について	3
2 平成28年度取組状況検証結果 総括	4
(1)評価結果の総括	4
(2)地方創生交付金関係KPI一覧	6
3 平成28年度施策の進捗状況検証結果 総括表(基本目標に対する効果)	7
4 平成28年度施策の進捗状況検証結果 個票	10
1-1-1 保育園の新設・機能強化	10
保育所の整備	10
一時預かり保育等保育サービスの充実	11
私立保育所の保育環境改善事業	11
1-1-2 幼稚園の保育機能の充実	14
幼稚園での預かり保育の実施	14
幼稚園における幼保一体化の支援(幼稚園への保育機能の強化)	14
1-1-3 病児保育機能の強化	16
病児保育等、病院への育児機能の導入	16
1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進	18
子育て層向けの情報発信	18
赤ちゃんの駅普及啓発事業	20
1-2-2 子育て層の交流促進	22
子育てサークルの支援	22
パパのための子育てイベントの開催	22
1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化	24
地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化	24
1-2-4 地域活動への参加機会の創出	26
ママのプロボノ活動促進事業	26
新規NPOの立ち上げ支援	26
NPOの広報活動の支援	27
1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	29
公共施設の耐震化	29
乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	29
自主防災会の活動支援・促進	31
自主防犯活動支援・促進	31
1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進	33
再生可能エネルギー(太陽光発電等)の導入	33
1-3-3 住宅供給の推進	35
既存住宅の流通支援	35
既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進	36

1-4-1	子育て世帯への経済的支援	38
	医療費助成等	38
	母子保健の充実	39
2-1-1	ワーク・ライフ・バランスの推進	41
	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	41
	テレワークの推進	42
	女性の活躍推進	43
2-2-1	市内産業の活性化	45
	企業の誘致	45
	設備導入等支援事業	45
2-3-1	ビジネスにつながる人的ネットワークの形成	47
	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施	47
2-3-2	起業に対するきめ細かな支援の充実	49
	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	49
	起業支援スペース等の整備	50
	起業支援融資に係る利子補給	50
2-4-1	子育て支援に関する事業活動の創出	52
	地域型保育事業の整備	52
	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上	52
2-4-2	介護・福祉分野における事業活動の創出	54
	介護関係資格取得費の支援	54
	地域密着型サービス事業所の整備	55
2-4-3	食に関する地域産業の創出	57
	新規就農の支援	57
	農産物の加工・特産品の開発支援	57
	地産地消の推進	58
3-1-1	イベントの開催	60
	イコマニア100の実施	60
3-1-2	文化芸術活動やスポーツレクリエーション活動への参加機会の創出	62
	文化芸術活動への参加機会の創出	62
	子どもを対象としたスポーツイベントの開催	62
	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催	63
3-1-3	教育環境の充実	66
	学校図書館司書の配置の拡充	66
	高山スーパースクールゾーン構想	67
	夢を与える講演会・学校創造推進事業	68
3-1-4	協働による魅力創造	70
	生駒の魅力発信プロジェクト	70
3-2-1	まちの魅力発信	72
	子育て・教育環境の良さを効果的に発信	72
	子育て関連のパンフレット・ホームページ作成	73

3-2-2 観光振興や広域交流の促進	75
観光・交流の促進	75

附属資料

1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議要綱	78
2 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 参加者名簿	79
3 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価集約表	80

# 1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況評価について

## (1) 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、国が定めた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」及び「生駒市人口ビジョン」を勘案し定めたもので、第5次総合計画を特出し・深掘りした計画となっている。

本市の女性は優れた知識や技能を持った方が多く居住していながらも就業率が低く、その高いポテンシャルを活かしきれていないこと等から、総合戦略では、子育て層、特に女性をターゲットとし、下図に示すように、3つの「基本目標」に示す将来像を展望して、「施策に対する基本的方向」（10項目）を定め、取組の内容として「具体的な施策」（24項目）を掲げている。

基本目標	施策に対する基本的方向	具体的な施策
1 子育てしやすいまち	1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる	1-1-1 保育園の新設・機能強化
		1-1-2 幼稚園の保育機能の充実
		1-1-3 病児保育機能の強化
	1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる	1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進
		1-2-2 子育て層の交流促進
		1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化
		1-2-4 地域活動への参加機会の創出
	1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる	1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上
		1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進
		1-3-3 住宅供給の推進
1-4 経済面での出産・子育ての不安を軽減する	1-4-1 子育て世帯への経済的支援	
2 母親が希望のしごとをできるまち	2-1 企業での多様な働き方を広げる	2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進
		2-2-1 市内産業の活性化
	2-2 市内での雇用を生み出す事業活動を伸ばす	2-2-1 市内産業の活性化
		2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成
	2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる	2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実
		2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出
	2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる	2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出
2-4-3 食に関する地域産業の創出		
3 子育て層（特に女性）が転入したいまち		3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり
	3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の創出	
	3-1-3 教育環境の充実	
	3-1-4 協働による魅力創造	
	3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる	3-2-1 まちの魅力発信
		3-2-2 観光振興や広域交流の促進

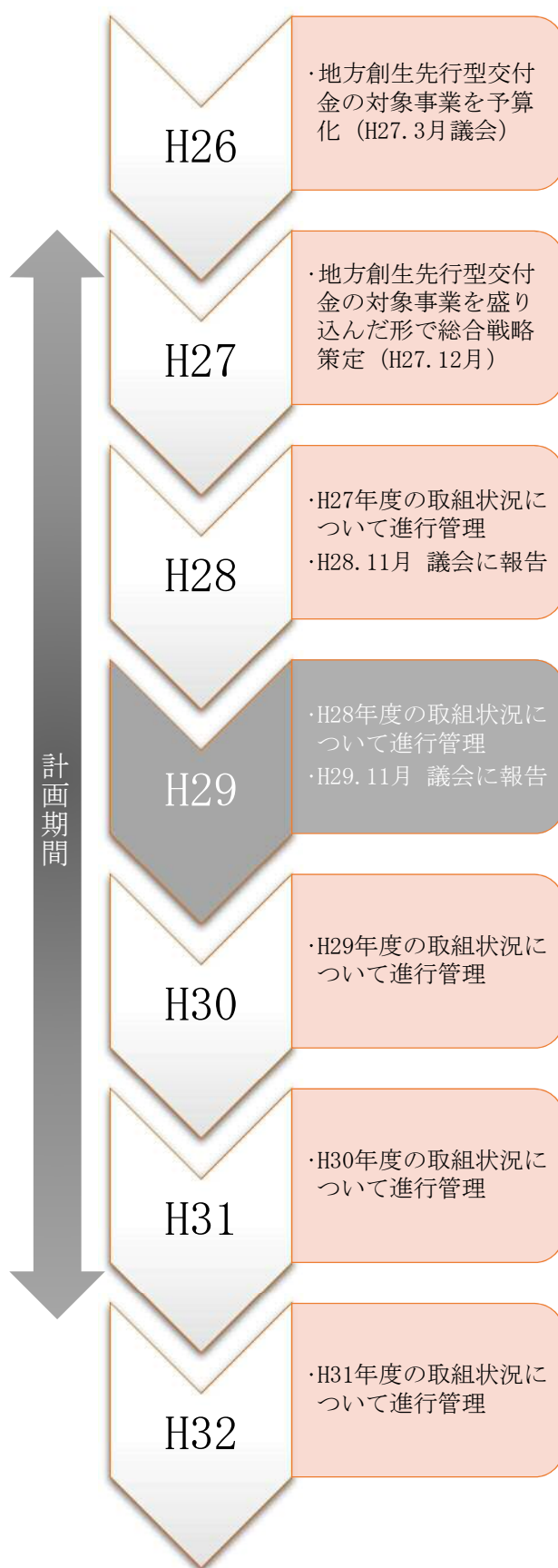
## (2) 総合戦略策定にあたってのこれまでの経緯と今後の進行管理について

総合戦略の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間である。

一方で、総合戦略が策定されたのは平成27年12月であり、総合戦略の中には、これまで継続して行ってきた事業もあれば、総合戦略に盛り込むことが決定してから予算化し、平成28年度から事業を開始するものまで様々存在する。さらに、一部の事業は、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）（以下、「地方創生先行型交付金」という。）を活用するために、平成26年度中にも関わらず、その後策定する総合戦略に盛り込むことが予め見込まれる事業を予算化し、総合戦略に盛り込んでいる。

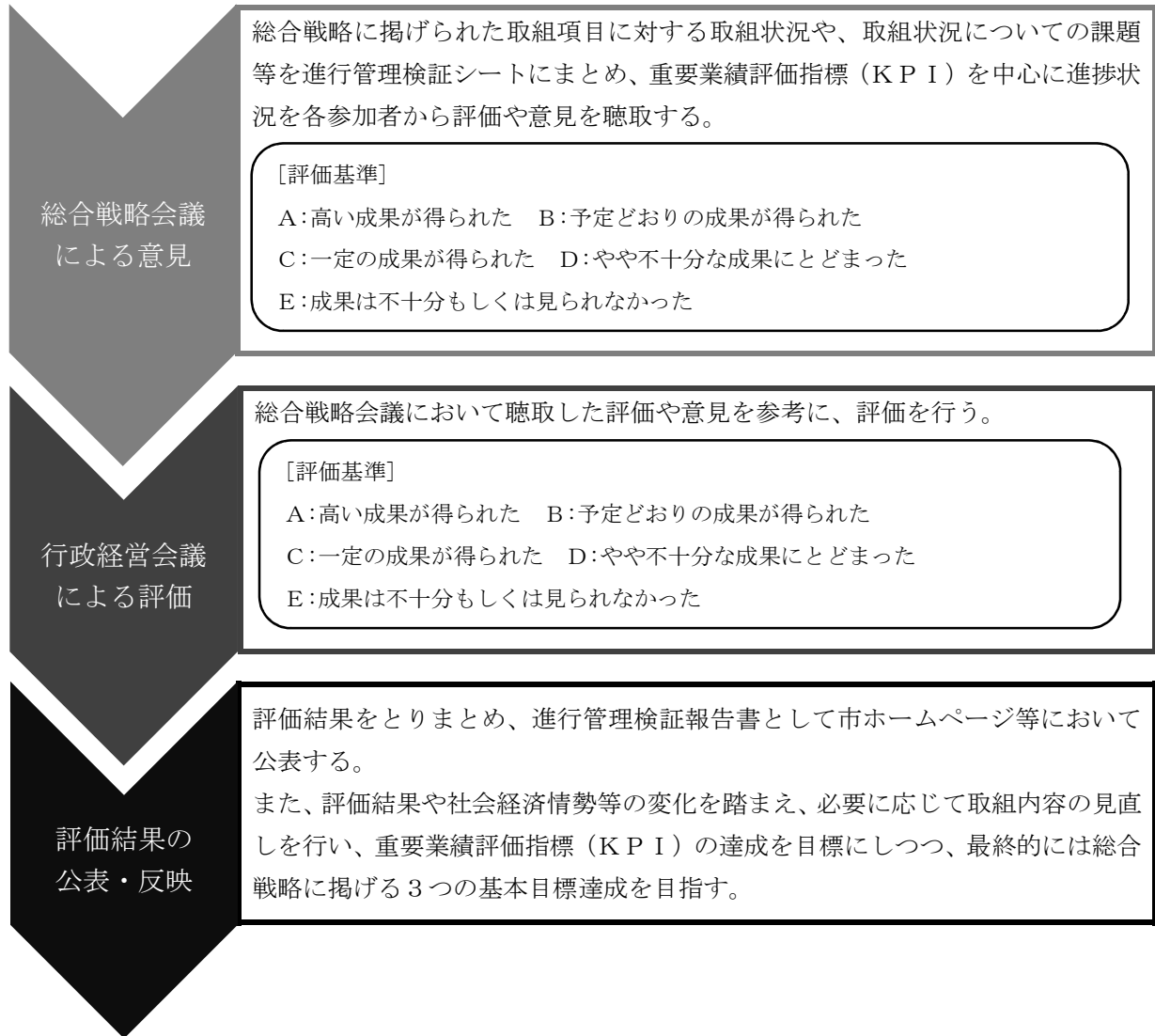
総合戦略の進行管理については、計画期間内において確実な成果を達成するため、行政の執行部門と地域の事業関係主体とが、協働によりPDCAサイクルを実践することが可能となるよう、各担当部課が進捗状況を「生駒市行政経営会議」（以下、「行政経営会議」という。）に報告し、「生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」（以下「総合戦略会議」という。）の意見を得ながら、行政経営会議において、計画の進捗状況を検証することになっている。

平成28年度以降、毎年、前年度の取組状況について、総合戦略会議において評価や意見を聴取し、行政経営会議において評価を決定する。また、報告書を議会に報告するとともに、市ホームページに公表する。



### (3) 各取組項目の評価方法について

進行管理を行うにあたって、平成29年7月6日に総合戦略会議（全体会）において、意見を聴取し、9月5日の行政経営会議において、市としての評価を行った。





## 2 平成28年度取組状況検証結果 総括

### (1) 評価結果の総括

各具体的施策をA～E評価した結果は、下記のとおりとなっている。

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	1	4.2
B:予定どおりの成果が得られた	17	70.8
C:一定の成果が得られた	6	25.0
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	24	100.0

75%が「予定通りの成果が得られた」以上の評価となっており、昨年度(48.3%)と比べても順調に取組が進められていることが窺える。また、昨年度は2項目が「やや不十分な評価にとどまった」以下の評価だったが、今年度は全ての項目において、「一定の成果が得られた」以上の評価となっており、取組全般が進捗したものといえる。

#### ①「基本目標1 子育てしやすいまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	1	9.1
B:予定どおりの成果が得られた	8	72.7
C:一定の成果が得られた	2	18.2
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	11	100.0

11項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。中でも「子育て層を応援する情報提供の推進」については、A評価となった。子育て関連のホームページの充実、「赤ちゃんの駅」の積極的な整備、周知が子育て層の満足度の向上に結びついている。

②「基本目標2 母親が希望のしごとをできるまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	0	0.0
B:予定どおりの成果が得られた	5	71.4
C:一定の成果が得られた	2	28.6
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	7	100.0

7項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。一方で、女性に特化した成果とはなりにくいものが多数存在するため、今後、女性の起業数を増やすためには、事業を執行する際の工夫が要求される。

③「基本目標3 子育て層が（特に女性）が転入したいまち」の取組状況評価結果

評価基準	件数	割合 (%)
A:高い成果が得られた	0	0.0
B:予定どおりの成果が得られた	4	66.7
C:一定の成果が得られた	2	33.3
D:やや不十分な成果にとどまった	0	0.0
E:成果は不十分もしくは見られなかった	0	0.0
	6	100.0

6項目全てが「一定の成果が得られた」以上となっており、取組は進められている。子育て層にとって魅力的なイベント等により本市の都市ブランド力が向上し、転出者数の減少に繋がっているといえる。一方で、数値目標である「子育て層の転入者数」は、昨年度よりも減少しており、対外的なイメージを固めるなど、更なる取組の強化が求められる。

(2) 地方創生交付金関係KPI一覧

先行型交付金 ※各個票に【先行型対象】と表示		KPI	目標値		現状値
			H31	H28	H28
1-1-1	私立保育所の保育環境改善事業	改修後保育所入所児童数／改修前保育所入所児童数	105%	105%	108%
1-2-1	赤ちゃんの駅普及啓発事業	赤ちゃんの駅（モデルスペース）利用者数	180人	180人	1,170人
1-3-1	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	防災訓練等での当該備蓄品の活用回数（年間）	4回	4回	4回
		乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数	5,000部	2,000部	4,000部
		子育て層の定住意向「ずっと住みつづきたい」の割合	58.0%	52.0%	52.1%
2-2-1	設備導入等支援事業	機器設備導入企業における売上増〔累計〕 H26年度比	2.0%	2.0% (H27)	6.7% (H27)
		機器導入件数〔累計〕	24件	24件	20件
3-1-4	生駒の魅力発信プロジェクト	生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合	61.5%	59.7%	61.0%
		生駒市への居住を人に薦めたい人の割合	53.3%	51.5%	62.7%
3-2-1	子育て・教育環境の良さを効果的に発信	PRサイトユニークユーザー数	2,500人	2,500人	12,462人
		子育て層の転入者数	1,238人	1,208人	1,010人

加速化交付金 ※各個票に【加速化対象】と表示		KPI	目標値		現状値
			H31	H28	H28
1-2-4	ママのプロボノ活動促進事業	ママのプロボノ活動に参加するプロボノワーカーの延べ人数	80人	20人	15人
2-1-1	テレワークの推進	テレワーク導入件数	2社	0社	0社
2-3-2	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	女性の創業支援対象者数	16人	4人	28人
	起業支援スペース等の整備	女性の起業支援スペース延べ利用件数	3件	0件	5件

推進交付金 ※各個票に【推進対象】と表示		KPI	目標値		現状値
			H31	H28	H28
2-1-1	テレワークの推進	テレワーク導入件数	2社	0社	0社
2-3-2	起業支援スペース等の整備	女性の起業支援スペース延べ利用件数	2件	0件	5件
		本事業への参画による女性就労者延べ人数	22人	2人	0人

3 平成28年度施策の進捗状況検証結果 総括表（基本目標に対する効果）

基本目標 1 子育てしやすいまち

数値目標	子育て層の住みやすさの満足度（市民満足度調査） （H26・H28 は本調査、H27 は web 調査）																							
現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	4.8 点	<table border="1"> <caption>子育て層の住みやすさの満足度</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.84</td> <td>4.87</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4.95</td> <td>4.88</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>4.92</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>4.96</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	4.8		H27	4.84	4.87	H28	4.95	4.88	H29		4.92	H30		4.96	H31		5.0
年度	現状値	目指す値																						
H26	4.8																							
H27	4.84	4.87																						
H28	4.95	4.88																						
H29		4.92																						
H30		4.96																						
H31		5.0																						
目標値	H31 年度	5.0 点																						
実績値	H28 年度	4.95 点																						
数値目標	子育て層の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合（市民満足度調査）（H26・H28 は本調査、H27 は web 調査）																							
現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	52.8%	<table border="1"> <caption>子育て層の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>52.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>43.0</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.1</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>54.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>56.0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	52.8		H27	43.0	50.0	H28	52.1	52.0	H29		54.0	H30		56.0	H31		58.0
年度	現状値	目指す値																						
H26	52.8																							
H27	43.0	50.0																						
H28	52.1	52.0																						
H29		54.0																						
H30		56.0																						
H31		58.0																						
目標値	H31 年度	58.0%																						
実績値	H28 年度	52.1%																						
基本目標への 実現への効果	<p>目指す将来像「多様な保育サービスの利用や、コミュニティの中での支えあい、さらには費用面での支援により、子育て層が希望の子ども数を持って、ゆとりを持って生活(子育て)している。」に対し特に寄与したことを列挙すると、</p> <p>【ハード面】・公立いこま幼稚園のこども園化に向けた整備 ・100 人を超える定員の私立保育所を整備 ・公共施設の耐震化率 100%を達成 ・防犯カメラを新たに 4 自治会に設置 等</p> <p>【ソフト面】・一時預かり事業を公立こども園へ拡大するなどの保育サービスの充実 ・みっきランドの日曜開所による子育て環境の充実 ・赤ちゃんの駅の公共施設を中心とした普及 ・ママのプロボノ活動促進 ・子ども医療費助成を中学校卒業まで拡大 ・不育症治療費助成の開始 等</p> <p>が挙げられ、これらが住みやすさの満足度や定住意向の上昇に寄与していると考えられる。一方で、病児保育を市立病院にも拡大することや、既存住宅の流通支援といった空き家対策については依然として課題も存在するため、改めてニーズ調査等を実施し、現状で不足している点を分析する必要がある。</p>																							

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

数値目標	女性の就業者数（「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」を含む）（国勢調査）		
現状値 （総合戦略策定時）	H22年度	18,814人 (20,457人)	
目標値	H31年度	19,300人 (20,985人)	
実績値	H27年度	20,337人 (22,201人)	
数値目標	女性の新規起業数（生駒市起業支援融資制度利用の女性起業家）		
現状値 （総合戦略策定時）	H26年度	1件	
目標値	H31年度	6件	
実績値	H28年度	1件 (H27以降申請4件中4件男性)	
基本目標への 実現への効果	<p>目指す将来像「市内企業でのワーク・ライフ・バランスに関する取組が進み、母親が子育てしながら多様な働き方を選択しているとともに、母親が希望のしごとを自ら起業し、家計を支える収入を得ながら子育てとの両立に繋げている。」に対し特に寄与したことを列挙すると、</p> <p>【ハード面】・テレワーク&amp;インキュベーションセンターイコマドを整備し年度末にオープン ・企業誘致として新規1社、増築3社 ・設備導入支援補助 等</p> <p>【ソフト面】・産官学共同のイクボス宣言 ・テレワーク&amp;インキュベーションセンターイコマドのオープンに伴うセミナーの実施や起業支援スペースの多くの利用 ・創業希望者を支援するためのワンストップ窓口の設置 ・新規就農希望者への働きかけによる就農者の増 等</p> <p>が挙げられる。一方で、長期間のテレワーク導入企業の掘り起しの見通しが立っていないことや、起業支援融資に係る利子補給・介護関係資格取得費の支援など利用者の低迷しているものがある等、依然として課題は存在する。また、分野全体として、女性に特化した成果とはなりにくいものも多数存在するため、今後、女性の就業者数や女性の起業数を増やすためには、事業を執行する際の工夫が要求される。</p>		

**基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち**

<p><b>数値目標</b></p>	<p>子育て層の転入者数（住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）の1～12月の30歳代の転入者数）</p>		
<p><b>現状値</b> (総合戦略策定時)</p>	<p>H25年度</p>	<p>1,179人</p>	
<p><b>目標値</b></p>	<p>H31年度</p>	<p>1,238人</p>	
<p><b>実績値</b></p>	<p>H28年度</p>	<p>1,010人</p>	
<p><b>基本目標への実現への効果</b></p>	<p>目指す将来像「子育て層（特に女性）にとって魅力的なイベントが企画、開催されるなど、まちの魅力の発信力が強化され、本市の都市ブランド力が向上しているとともに、その魅力に惹かれて市外から子育て世帯（親との同居・近居を望む生駒市出身者を含む）が新たに市に流入してきている。また、市内においても、子育て世帯だけでなく20～24歳を中心とした若年層や高齢者などの他の世代の転出抑制にも繋がり、市民の定住促進が進んでいる。」に対し特に寄与したことを列挙すると、</p> <p><b>【ハード面】</b>・生駒北小中一貫校新校舎の建設完了 ・(仮称)高山認定こども園の設計図書が完成 等</p> <p><b>【ソフト面】</b>・公共公益イベントをイコマニアイベントとして認定し広報支援 ・市民みんなで創る音楽祭で「0才から楽しめるファミリーコンサート」等を実施 ・トップアスリート等と触れ合えるスポーツイベントを開催 ・本市のイメージを高め、ファンづくりを進めるためのイベント「IKOMA SUN FESTA」を実施 ・市民PRチーム「いこまち宣伝部」ではフェイスブックチーム、フォトブック制作チームが活動 ・電子版母子手帳を活用した情報発信 等</p> <p>が挙げられる。全体的に事業の進捗状況は概ね良好であるが、一方で、これらの施策が転入者数の増加に直結するものではないことから、引き続き粘り強く、シビックプライドの醸成とロコミによる市の推奨度の向上に取り組む必要がある。</p>		

4 平成28年度施策の進捗状況検証結果 個票

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-1 保育園の新設・機能強化

具体的な施策	施策名	保育所の整備																							
	施策内容	増加する保育需要に対応するため、待機児童の多い地域を中心にその解消等に向けた保育所の整備を行います。また、地域型保育事業の積極的な展開を進めます。																							
	取組状況 (H28年度)	H28. 4月 120人定員 保育所開園 54人定員（地域枠18人）事業所内保育事業所開園 H28. 11月 19人定員 小規模保育所開園 以上のとおり、必要な取組を概ね行った。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 0～2歳児を対象とした地域型保育事業所を新設できたことは待機児童解消への前進となったが、そのための用地確保や3歳児の受入のための連携施設の不足といった問題が残る。 [H29年度の取組予定] 小規模保育所を2園新設し、待機児童解消に取り組む。																							
主担当課		こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	保育所待機児童数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	68人	<table border="1"> <caption>保育所待機児童数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>68</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>54</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>46</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	68	10	H27	54	10	H28	46	10	H29	-	0	H30	-	0	H31	-	0
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	68	10																						
H27	54	10																							
H28	46	10																							
H29	-	0																							
H30	-	0																							
H31	-	0																							
目標値	H31年度	0人																							
実績値	H28年度	46人																							

具体的な施策	施策名	<b>一時預かり保育等保育サービスの充実</b>		
	施策内容	保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。さらに、保育サービスの充実に向けた検討を行います。		
	取組状況 (H28年度)	[延長保育] 公立4園、民間15園、地域型保育事業所5園で実施 [一時預かり保育] 民間7園、公立2園で実施 [休日保育] 民間1園で実施 [病児保育] 民間1園で実施 [病後児保育] 民間1園で実施 [病後児保育(体調不良児対応型)] 公立4園、民間7園で実施 [地域子育て支援拠点事業] 民間4園で実施 以上のとおり、必要な取組を概ね行った。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 一時預かり保育について、公立の南こども園及び認定こども園生駒幼稚園で実施したことにより利用者数が大幅に伸びた。 休日保育の利用は伸びていない状況にある。また、病児保育においてもほぼ横ばいであり、1日平均の利用者数は、受け入れ定員を大きく下回っている。 [H29年度取組予定] 利用者の増加がみられない休日保育、病児保育については、特に保護者への広報、周知を図る。		

主担当課	こども課
------	------

重要業績評価指標 KPI	指標名	一時預かり保育の延べ利用児童数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	6,610人	
	目標値	H31年度	7,200人	
	実績値	H28年度	11,401人	

具体的な施策	施策名	<b>私立保育所の保育環境改善事業【先行型対象】</b>
	施策内容	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。
	取組状況 (H28年度)	私立保育所に対し民間保育園備品充実費補助金として、4,274,250円を補助し、保育サービスの充実を図った。



	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 園児数に応じた補助金を交付し、保育に必要な備品を購入することで保育サービスを充実することができた。 [H29年度の取組予定] 引き続き、民間保育園備品充実費補助金を適正に交付する。		
	主担当課	こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	改修後保育所入所児童数 / 改修前保育所入所児童数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	100%	
	目標値	H31年度	105%	
	実績値	H28年度	108%	

補助指標	H29 満足度調査における保育施設・サービスに対する満足度※1 (うち、私立保育所に通わせている親の満足度※2)	
実績値	保育施設	保育サービス
	58.3 点 (66.0 点)	53.7 点 (65.0 点)
(参考)	H27 満足度調査時における保育施設・サービスに対する満足度※1	
	保育施設	保育サービス
	54.6 点	49.5 点

※1 市民満足度調査による保育施設、サービスに関する満足度を 100 点満点 (満足 100 点、やや満足 75 点、普通 50 点、やや不満 25 点、不満 0 点) で評価したもの。※2 子どもを私立保育所に通わせている回答者の平均値

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・待機児童数については、順調に推移している。引き続き 取組を進められたい。
	2	6	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生駒市は子育てするママに優しいまち」という声を良く聞くので、この分野は総じて高評価できる。</li> <li>・一時預かり保育等サービスについては、利用数アップのため、広報紙や小児科医院等で積極的なPRを期待する。</li> <li>・補助指標である保育施設・サービスに対する満足度は重要な指標なので、課題を分析の上、改善策を講じる必要がある。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

**B:予定どおりの成果が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-2 幼稚園の保育機能の充実

具体的な施策	施策名	幼稚園での預かり保育の実施		
	施策内容	多様な保育需要に対応するため、市立幼稚園における長時間預かり保育を行います。		
	取組状況 (H28 年度)	市立 9 園で短時間（午後 4 時まで）の短時間預かり保育を実施するとともに、生駒幼稚園では午前 8:15～、～午後 5 時の長時間預かり保育を実施、新たに南こども園（南幼稚園）では午前 7:30～、～午後 6:30 の長時間預かり保育を実施するなど一定の取組を行った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>幼稚園での預かり保育を充実させることにより、保護者の時間的なゆとりをつくることができた。</p> <p>しかし、職員勤務体制の整備及び送迎用駐車場の確保が難しい状況にある。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>職員勤務体制の整備や送迎用駐車場の確保など状況を把握し、実施園の拡大が可能か検討する。</p>		
主担当課		こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	長時間預かり保育実施園数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	1 園	
	目標値	H31 年度	3 園	
	実績値	H28 年度	2 園	
具体的な施策	施策名	幼稚園における幼保一体化の支援（幼稚園への保育機能の強化）		
	施策内容	幼稚園において、多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実するため、認定こども園の整備を行うとともに、幼稚園と保育園、学校と連携した就学前教育に取り組みます。		

	取組状況 (H28年度)	H29.4月の幼稚園型認定こども園生駒幼稚園の開園に向け、保育室1室を調理室に改修した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>生駒幼稚園を認定こども園化することにより多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実させることができた。</p> <p>幼保一体化の取組については、現在、公立幼稚園にとどまっており、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園の理解と協力が課題である。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>生駒幼稚園において課題と成果を整理し、更なる機能の充実を図る。</p>																							
主担当課		こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	幼稚園と小中学校との連携事業数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	103件	<table border="1"> <caption>現状値と目指す値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>103</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>105</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>108</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>118</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	103	92	H27	105	98	H28	108	103	H29	-	108	H30	-	113	H31	-	118
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	103	92																						
H27	105	98																							
H28	108	103																							
H29	-	108																							
H30	-	113																							
H31	-	118																							
目標値	H31年度	118件																							
実績値	H28年度	108件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成28年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
	1	7	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の雇用や待遇をさらに充実することで充実した保育施策が実施できるのではないか。</li> <li>・継続的な実施には、職員の勤務体勢の整備が急務だと思う。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

**B: 予定どおりの成果が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-1 子育て層の時間的なゆとりをつくる

1-1-3 病児保育機能の強化

具体的な施策	施策名	病児保育等、病院への育児機能の導入		
	施策内容	市立病院等における病児保育サービスを拡充します。		
	取組状況 (H28年度)	H28年度において検討を行ったが実施に至らず、やや不十分な取組にとどまった。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 病児保育事業所の意見聴取、ニーズの把握が不十分であった。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の病児保育事業所での1日平均の利用者数は、受け入れ定員を下回っているが、実際のニーズを把握する検討を進める。</li> <li>・周知方法を再確認し、より効果的な情報提供に努める。</li> </ul>		
主担当課		こども課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	病児保育設置件数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	1件	
	目標値	H31年度	2件	
	実績値	H28年度	1件	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・現在の病児保育事業所での利用者数が少ないことについて、ニーズがないのか、病児保育サービスを実施していることを知らないのか、原因を分析のうえ、具体的な方策を決定する必要がある。
	1	1	3	3	1		

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・病児保育サービスを実施していることを知らない人が多い。幼稚園児を持つ家庭にも、もっと積極的に周知するべき。
------------------------	--

○評価結果

C:一定の成果が得られた

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進

具体的な施策	施策名	子育て層向けの情報発信
	施策内容	妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための講座開催とともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュール、子育て層が訪れやすい店舗や交流機会など、IT を利用した多様な情報の発信に取り組みます。
	取組状況 (H28 年度)	<p>【子育て支援総合センター】</p> ひろば事業やペアレント講座について年間計画どおりすべて開催した。講座等の情報発信については従来の市ホームページや広報紙に加え、電子版親子手帳での発信を開始した。また、講座等申込については、市ホームページから直接申込みができるよう利便性の向上を図った。 <p>【健康課】</p> パパママ教室（3 回コース）を年間 12 回、パパ講座を 9 回、離乳食講習会を 12 回、おやこ広場（2 回コース）を 12 回開催し、妊娠・出産・育児に必要な情報の提供を行った。また、予防接種は、市公式ホームページに常時掲載して情報提供を行い、乳幼児健診については対象者に個別通知するなど、必要な取り組みを全て行った。 <p>【情報政策課】</p> H28 年度に開設したオープンデータポータルサイトにおいて、二次利用可能なファイル形式で保育園や幼稚園の位置情報等を公開した。また、カテゴリに「子育て・教育」を作成し、子育て層に必要な情報が習得しやすくなるようにした。 <p>【こども課】</p> 保育所の入所申込み書類を市ホームページからダウンロードできるようにするとともに、4 月一斉入所及び 2 次選考における空き状況等を公開するなど、必要な取組を継続した。また、子育て支援活動としての保育園及び幼稚園の園庭開放情報も公開した。
	取組状況についての課題等	<p>【子育て支援総合センター】</p> [良かった点・悪かった点] 講座等の申し込みがハガキからメールによる申し込みが増え、返信の事務量が軽減した。 <p>[H29 年度の取組予定]</p> スマホを利用したのスタンプラリーを開始し、ラリー内での事業 PR を図る。

		<p><b>【健康課】</b></p> <p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>パパママ教室の参加者数が時期により差があり、申し込みが集中する月は参加を断ることもあった。参加者からは、おおむね満足の評価が得られた。</p> <p>乳幼児健康診査については、個別通知を継続してきたが、平均受診率は横ばいとなった。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>パパママ教室、おやこ広場を年間 6 回（偶数月、隔月開催）、パパ講座は年間 9 回の開催とする。</p> <p>（理由）</p> <p>近年、妊娠届出者および出生数の減少により、各教室（パパママ教室・おやこ広場）の受講者数が減少傾向にあったため、効率化を図るために隔月開催とし、参加者同士の交流会等の充実を図るため。</p> <p><b>【情報政策課】</b></p> <p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>オープンデータポータルサイトにおいて、活用事例に保育園マップを掲載し、便利な機能を持つアプリケーションを紹介した。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>子育て層が知り得たい情報を効果的に発信する手法等について情報収集し、各課に提案する。</p> <p><b>【こども課】</b></p> <p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>5 月以降の入所の空き状況を公開することを検討したが、変動が多く混乱を招く危険性があることから公開できない状況である。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>今後も保育園及び幼稚園に係る子育て支援につながる情報の公開を検討する。</p>																							
	<b>主担当課</b>	子育て支援総合センター・健康課・情報政策課・こども課																							
<b>K P I</b> <b>重要業績評価指標</b>	<b>指標名</b>	市ホームページの子育て関連ページへのアクセス件数																							
	<b>現状値</b> (総合戦略策定時)	H26 年度	24,000 件	<table border="1"> <caption>アクセス件数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>24,000</td> <td>24,480</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>38,196</td> <td>24,960</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>42,076</td> <td>25,440</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>25,920</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>26,400</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>26,400</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	24,000	24,480	H27	38,196	24,960	H28	42,076	25,440	H29		25,920	H30		26,400	H31		26,400
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	24,000	24,480																						
H27	38,196	24,960																							
H28	42,076	25,440																							
H29		25,920																							
H30		26,400																							
H31		26,400																							
<b>目標値</b>	H31 年度	26,400 件																							
<b>実績値</b>	H28 年度	42,076 件																							



具体的な施策	施策名	赤ちゃんの駅普及啓発事業【先行型対象】		
	施策内容	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。		
	取組状況 (H28年度)	<p>広報いこまちで「赤ちゃんの駅」として登録を希望する施設の募集をした。</p> <p>公共施設や公私立保育園幼稚園、市内の近鉄の主な駅を登録した。公私立保育園幼稚園のモデルスペースに備品を配置し、環境整備の向上を図った。</p> <p>「赤ちゃんの駅」として登録した施設は市ホームページ・電子版親子手帳などに掲載し、市民周知を図った。</p>		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>商業施設など民間施設の登録数が伸びなかった。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>目標登録数55箇所</p>		
主担当課		子育て支援総合センター		
重要業績評価指標 KPI	指標名	赤ちゃんの駅（モデルスペース）利用者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	180人	
	実績値	H28年度	1,170人	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・引き続き、子育て層のニーズ吸収を図りつつ、継続的な 情報発信を行うとともに、「赤ちゃんの駅」の民間施設へ の設置拡充による定着化、利用者の増加を図られたい。
	6	2	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信のプラットフォームづくりが大切。</li> <li>・「赤ちゃんの駅」の民間施設の登録数を伸ばすためには、ある事業者が登録すれば、それに関連する事業者も登録するといった横並びの傾向をうまく利用し、事業を進められたい。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

A:高い成果が得られた
-------------

**基本目標 1 子育てしやすいまち**

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-2 子育て層の交流促進

具体的な施策	施策名	<b>子育てサークルの支援</b>																							
	施策内容	子育て層の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサークルによる活動の拡大等、子育て層同士の学び・交流の機会を充実します。																							
	取組状況 (H28年度)	みっきランドを日曜日にも開所して、より一層親子が集い、遊びや仲間づくりのしやすい環境を整えるとともに、子育てアドバイザーによる子育て相談を行った。夏の長期休業中に公立幼稚園のリズム室を就学前の子どもと保護者に開放した。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 利用者に寄り添う体制を整えたことで、相談件数が倍増した。 [H29年度の取組予定] 市内北地区の子育て支援拠点として、北コミュニティセンターISTAはばたきで「はばたきみっき」を開設。																							
主担当課		子育て支援総合センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域子育て支援拠点の利用者数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	29,630件	<table border="1"> <caption>地域子育て支援拠点の利用者数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>29,630</td> <td>27,000</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>30,660</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>36,580</td> <td>29,000</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>30,000</td> <td>31,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>31,000</td> <td>31,000</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>31,000</td> <td>31,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	29,630	27,000	H27	30,660	25,000	H28	36,580	29,000	H29	30,000	31,000	H30	31,000	31,000	H31	31,000	31,000
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	29,630	27,000																						
H27	30,660	25,000																							
H28	36,580	29,000																							
H29	30,000	31,000																							
H30	31,000	31,000																							
H31	31,000	31,000																							
目標値	H31年度	31,000件																							
実績値	H28年度	36,580件																							

具体的な施策	施策名	<b>パパのための子育てイベントの開催</b>
	施策内容	男性の育児への積極的な参加を促すため、保育園や幼稚園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。
	取組状況 (H28年度)	パパセミナーを2期開催(1期:3クール)。また、父親も参加し、家族で楽しめる「まるっと生駒 家族フェスタ」を開催。 H29年度の男性(父親)の育児参画の推進計画を策定。

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 父親同士の交流ができたこと。また、みっきランドへの父親と子どもの利用が多く見られるようになった。</p> <p>[H29年度の取組予定] 毎月第4日曜日に「パパひろば」を開催。 平日の夜に「父親向けトリプルP」を開催。 パパセミナー2期（1期：3クールを4クール）に増設。</p>																							
	主担当課	子育て支援総合センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	子育てイベントへの男性の参加者数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>現状値と目指す値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>26</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>17</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>12</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	26	6	H28	17	12	H29	12	18	H30	18	24	H31	30	30
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	26	6																							
H28	17	12																							
H29	12	18																							
H30	18	24																							
H31	30	30																							
目標値	H31年度	30人																							
実績値	H28年度	17人																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成28年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はばたきみっき」を整備したことは、評価できる。</li> <li>・地域ごとに子育てサークルの活動場所の確保できるよう検討されたい。</li> </ul>
	1	6	2				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定通りの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに参加している男性が増えており、一昔前とは意識が変わっている。</li> <li>・子育てイベントの男性の参加者数だけではなく、みっきランドに来場する男性をカウントしてはどうか。</li> <li>・インターネットやSNSなど、多様な情報発信により認知度を高め、参加者増加につなげてほしい。</li> </ul>
----------------	---

○評価結果

<b>B: 予定通りの成果が得られた</b>
------------------------

**基本目標 1 子育てしやすいまち**

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化

具 体 的 な 施 策	施策名	地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化
	施策内容	乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育機関、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。
	取組状況 (H28 年度)	<p>【子育て支援総合センター】</p> 市内幼稚園・保育園の園児、教師、保護者を対象に CAP（子どもへの暴力防止）こどもワークショップ、おとな（教職員、保護者対象）ワークショップを実施（5回）した。 <p>【健康課】</p> 10 月から新しく配置したマタニティコンシェルジュが、妊娠期から関わりのある産婦等に電話などで状況確認し、アドバイスを行った。                 保健師または助産師が、未熟児訪問や新生児訪問（希望者）及び、こんにちは赤ちゃん訪問事業により対象児の約 98%を訪問し、育児の支援および家庭の状況確認を行うなど、必要な取り組みを概ね行った。
	取組状況に ついての課題等	<p>【子育て支援総合センター】</p> [良かった点・悪かった点] こどもの立場になって考えることで、気持ちを受け止めてもらえることの大切さや安心感が改めて理解できて良かった、との感想をいただいた。より多くの人に参加をすすめていく。                 [H29 年度の取組予定] 昨年同様市内幼稚園・保育園の園児、教師、保護者を対象に CAP（子どもへの暴力防止）こどもワークショップ、おとなワークショップを実施（5回）予定。 <p>【健康課】</p> [良かった点・悪かった点] 10 月から新たにマタニティコンシェルジュを配置し、アセスメントシートを活用して、継続的な支援が行えるようになり、妊娠期の支援が充実した。相談件数も増えつつあるが、さらに身近な相談しやすい存在として、妊婦や家族に周知していく必要がある。                 [H29 年度の取組予定] 若年妊娠や未婚での妊娠が増加し、社会的・経済的・心理的に支援の必要な妊婦が増加しているなか、安心・安全に出産・育児ができ

		<p>るよう、産科医療機関と連携が取れるような体制の整備を行う。また、母親だけが子育ての負担を抱えないよう、父親や祖父母世代への情報提供リーフレットを H29 年度から妊娠届出時に全妊婦に配布する。</p>		
	主担当課	子育て支援総合センター・健康課		
K P I  重 要 業 績 評 価 指 標	指標名	新生児・乳児訪問の実施率（件数）		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	96.7%	
	目標値	H31 年度	100%	
	実績値	H28 年度	97.6% (947 件/970 件)	
	指標名	CAP講習会の開催 [累計]		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	10 件	
	実績値	H28 年度	6 件	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・新生児・乳児訪問については、一人でも訪問できなければ、そこが大きな問題に発展するケースがある。100%に向けて取組まれたい。
		8	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抑止に繋がる啓発と並行して、受け皿になるプラットフォームづくりが大切だと思われる。</li> <li>・体制を一層強化・充実させるため、家族だけでなく地域住民への認知度向上が課題。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

B:予定通りの成果が得られた
----------------

**基本目標 1 子育てしやすいまち**

1-2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる

1-2-4 地域活動への参加機会の創出

具体的な施策	施策名	<b>ママのプロボノ活動促進事業【加速化対象】</b>																							
	施策内容	結婚や出産を機に退職した後、再就職を目指す女性や育児休業中の女性が、仕事で培った経験やスキルを活かしてプロボノ活動に参加することで、NPOの組織運営を支援するとともに、女性が社会貢献できる場を創出し、育児休業後のスムーズな職場復帰のサポートや再就職に向けたウォーミングアップに取り組みます。																							
	取組状況 (H28年度)	NPO…3団体(申込数:7)、ママボノワーカー数…15人 6月…団体向け説明会、7月…団体決定、ママボノワーカー募集 9月…ママ向け説明会、10月…ママボノワーカー決定 11月…団体とママの顔合わせ、1月…最終提案																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 提案された内容が実用化されたり、ママ同士の新たなコミュニティが生まれたり、事業終了後の参加者アンケートでも高い満足を得られたことが分かった。個人事業主や専門知識を持った学生など、幅広い世代に波及させることができた。 [H29年度の取組予定] H28年度実施時よりもワーカー参加者を増やすため、ママボノワーカー募集開始を早める。																							
主担当課		市民活動推進センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	プロボノワーカーの延べ人数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>プロボノワーカーの延べ人数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>20</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>40</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>H31年度</td> <td>60</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26年度	0	0	H27年度	0	0	H28年度	15	20	H29年度	20	40	H30年度	40	60	H31年度	60	80
	年度	現状値	目指す値																						
	H26年度	0	0																						
H27年度	0	0																							
H28年度	15	20																							
H29年度	20	40																							
H30年度	40	60																							
H31年度	60	80																							
目標値	H31年度	80人																							
実績値	H28年度	15人																							

具体的な施策	施策名	<b>新規NPOの立ち上げ支援</b>
	施策内容	子育て層の社会参加の意欲を喚起し、地域社会の課題解決につながる活動に取り組もうとする新たなNPOの立ち上げに向けた支援や、活動推進に向けた基礎知識の習得、及びマネジメント等に向けた支援を行います。

	取組状況 (H28 年度)	組織活力アップ講座を 3 種類 4 日間開催 ・「イベント企画の秘訣」 ・「ボランティア・NPO のための活動資金調達のコツ」 ・「やってはいけないチラシづくり講座(2 日間)」 上記のとおり必要な取り組みを実施した。																							
	取組状況に についての課題等	[良かった点・悪かった点] 1 回あたり平均で 26 人が参加し、講座に参加した団体同士で交流が生まれるような講座内容のため、情報交換の場としても機能した。一方で、講座によっては参加数にばらつきがみられた。 [H29 年度の取組予定] 連続講座「ららゼミ ジモト塾」として、多様な分野から講師を呼び、大学生から子育て世代を対象とした多角的な内容の支援を実施予定。																							
	主担当課	市民活動推進センター																							
K P I  重 要 業 績 評 価 指 標	指標名	市民活動推進センターららポート登録団体数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	69 団体	<table border="1"> <caption>市民活動推進センターららポート登録団体数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>69</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>71</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>81</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	69	75	H27	71	80	H28	81	85	H29	-	90	H30	-	90	H31	-	95
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	69	75																						
H27	71	80																							
H28	81	85																							
H29	-	90																							
H30	-	90																							
H31	-	95																							
目標値	H31 年度	95 団体																							
実績値	H28 年度	81 団体																							

具 体 的 な 施 策	施策名	<b>NPOの広報活動の支援</b>
	施策内容	子育てしながら、地域社会とのつながりを持った活動への参加を促進するため、ららポート登録団体の活動内容のPRや、子育て層が気軽に参加できる団体実施事業の広報支援を行います。
	取組状況 (H28 年度)	ららポート登録団体、マイサポ事業広報掲載件数：48 件 twitter：173tweet ららだより：1,000 部×5 回 上記のとおり一定の取組みを行った。
	取組状況に についての課題等	[良かった点・悪かった点] 行政から各団体に対して、周知PRの重要性を説明したこともあり、広報掲載数、twitter投稿数ともに向上した。(前年度比…広報:154% (31→48 件)、twitter:494% (35→173tweet))。ららだよりについても、新たに近隣の大学や高校にも配布場所を拡大している。一方で広報媒体に偏りがある。



		[H29年度の取組予定] 前年度実施の広報手段を継続しながら、新たに Facebook 広告を取り入れるなど、従来とは異なる属性の市民への周知を図る。		
	主担当課	市民活動推進センター		
重要業績評価指標 KPI	指標名	市民活動推進センターららポート登録団体数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	69団体	
	目標値	H31年度	95団体	
	実績値	H28年度	81団体	

○総合戦略会議（全体会）からの平成28年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
		8	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動は精力的に取り組んでいるが、地域活動はそうでもない人が多い。地域でも活動してもらえるような方法を検討し取り組まれたい。</li> <li>女性がプロボノ活動をする場合、資金やマンパワーがネックになることが多い。こうした問題を解決できるようなセミナーを開催してはどうか。</li> <li>NPO等が抱える様々な問題を解消するためには、行政、支援機関、専門家、助成機関、金融機関等がネットワークを構築して支援を行うことも必要だと思う。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

<b>B: 予定通りの成果が得られた</b>
------------------------

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上

具体的な施策	施策名	公共施設の耐震化																							
	施策内容	耐震診断に基づく市庁舎の適切な耐震化の実施や、防災拠点における資機材整備を進めます。																							
	取組状況 (H28 年度)	災害時の拠点となる市役所庁舎の耐震工事が終了し、災害時に利用する公共施設の耐震化は終了した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>避難施設の耐震化率 100%に向け、H27・28 年度の 2 年間で庁舎耐震工事を計画通り実施できた。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>H27 年度に市内 12 個所の防災コンテナに整備した乳幼児を持つ世帯向けの備蓄を他の避難所にも備蓄する。</p> <p>福祉避難所になる施設への災害用備蓄の拡充を図る。</p>																							
主担当課		防災安全課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	避難施設の耐震化率																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	97.2%	<table border="1"> <caption>避難施設の耐震化率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値 (%)</th> <th>目指す値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>97.2</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>97.2</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>97.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)	H26	97.2	94.4	H27	97.2	94.4	H28	100	94.4	H29	-	97.2	H30	-	100	H31	-	100
	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)																						
	H26	97.2	94.4																						
H27	97.2	94.4																							
H28	100	94.4																							
H29	-	97.2																							
H30	-	100																							
H31	-	100																							
目標値	H31 年度	100%																							
実績値	H28 年度	100%																							

具体的な施策	施策名	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄【先行型対象】
	施策内容	乳幼児をもつ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。
	取組状況 (H28 年度)	熊本地震の発生を受け、子育て支援総合センターを会場に乳幼児を持つ世帯向けの防災講座を開催

		<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>4月発生の熊本地震で不安が広がっていた時期（5月）に講座を開催することができたので受講者の関心が高かった。</p> <p>単発事業となってしまい、継続することができなかった。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>妊産婦対象の防災講座を乳幼児をもつ保護者にまで広げた防災講座を開催。</p> <p>H27年度に市内12個所の防災コンテナに整備した乳幼児を持つ世帯向けの備蓄を他の避難所にも備蓄する。</p>		
	主担当課	防災安全課		
KPI 重要業績評価指標	指標名	防災訓練等での当該備蓄品の活用回数（年間）		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26年度	***	
	目標値	H31年度	4回	
	実績値	H28年度	4回	
	指標名	乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26年度	***	
	目標値	H31年度	5,000部	
	実績値	H28年度	4,000部	
	指標名	子育て層の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合 （H26・H28は本調査、H27はweb調査）		
	現状値 （総合戦略策定時）	H26年度	52.8%	
	目標値	H31年度	58.0%	
	実績値	H28年度	52.1%	

具体的な施策	施策名	自主防災会の活動支援・促進																							
	施策内容	自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促し、事業者等の複数団体等との連携による防災訓練の実施や、市民団体等への防災訓練の支援を行います。																							
	取組状況 (H28年度)	1 自主防災会が新たに発足 生駒市総合防災訓練で小学校区単位での複数団体による防災訓練を実施することができた。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 同日に多数の会場での訓練開催となったため、調整が不十分だったところがある。 [H29年度の取組予定] 自主防災会活動推進補助金の上限額を 10,000 円から 30,000 円に変更し、活動の促進を図る。																							
主担当課		防災安全課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	自主防災組織の組織率																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	94.5%	<table border="1"> <caption>自主防災組織の組織率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>94.5</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>96.2</td> <td>94.4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>97.3</td> <td>97.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>94.4</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	94.5	91.7	H27	96.2	94.4	H28	97.3	97.2	H29	94.4	100	H30	100	100	H31	100	100
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	94.5	91.7																						
H27	96.2	94.4																							
H28	97.3	97.2																							
H29	94.4	100																							
H30	100	100																							
H31	100	100																							
目標値	H31年度	100%																							
実績値	H28年度	97.3%																							

具体的な施策	施策名	自主防犯活動支援・促進		
	施策内容	犯罪の起こりにくい明るいまちづくり実現のため、自主防犯意識の高揚や防犯ネットワークの構築の推進など、地域による自主防犯活動を支援します。		
	取組状況 (H28年度)	自治会でのさらなる自主防犯意識の高揚への一助として、自治会内での防犯カメラ設置に対して補助を行うとともに、防犯活動用品の貸出等により自主防犯活動を支援するなど、必要な取組を行った。 [防犯カメラの設置補助実施自治会] 4自治会 [防犯活動用品貸出団体数] 61団体		

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>防犯カメラの設置については、昨年度の実績からも多数の自治会に広がりつつあり、窓口での相談件数も多くなっている（4～5自治会）。自治会での設置経費と住民の総意が課題となっている。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>自治会による防犯カメラ設置と合わせて、自主防犯活動に取り組んでもらえるよう支援する。</p> <p>防犯カメラ設置自治会への補助については、予算として、5自治会×上限100万円＝500万円を計上</p>																							
	主担当課	防災安全課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	刑法犯罪発生件数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	605件	<table border="1"> <caption>刑法犯罪発生件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>605</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>525</td> <td>620</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>518</td> <td>610</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>580</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	605	630	H27	525	620	H28	518	610	H29		600	H30		590	H31		580
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	605	630																						
H27	525	620																							
H28	518	610																							
H29		600																							
H30		590																							
H31		580																							
目標値	H31年度	580件																							
実績値	H28年度	518件																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成28年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	・公共施設の耐震化等のハード面が、いち早く整備が進んでいる等、成果が窺える。
		9					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯・防災面では、住民による自発的な活動等、マインドを一層醸成させる具体的施策が必要。</li> <li>・地震はいつ何時発生するかわからないので、昼間以外の地震発生を想定した訓練が必要。</li> <li>・全国的に犯罪発生件数は減少しているが、凶悪犯罪は増加している。犯罪予防のため、新たなツールを活用した情報発信も検討されたい。</li> </ul>
----------------	--

○評価結果

**B: 予定通りの成果が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進

具体的な施策	施策名	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入																							
	施策内容	官民連携のもと、市役所や市立病院等の公共施設を中心とした太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等の導入に取り組むとともに、民間事業所等における再生可能エネルギーの導入促進に努めます。																							
	取組状況 (H28年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム設置補助（交付件数 117 件、合計 522.4kW）</li> <li>・家庭用燃料電池（エネファーム）設置補助（交付件数 202 件）</li> <li>・家庭用蓄電システム設置補助（交付件数 39 件）</li> <li>・公共施設への太陽光発電設備導入（2 施設合計 100kW）</li> <li>・生駒北小中学校への地中熱利用設備導入</li> <li>・地域エネルギー会社設立に向けて、パートナー事業者を選定した上で事業計画（案）を作成した。</li> <li>・地域新電力をテーマとした環境シンポジウムの開催（参加者 200 人）</li> </ul>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新設した家庭用蓄電システム設置補助の申請が堅調であった。</li> <li>・公共施設に初めて地中熱を利用した設備を導入できた。</li> <li>・太陽光発電システム設置補助の交付件数は年々減少している。</li> </ul> <p>[H29年度取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民共同発電所事業による太陽光発電設置に向けた支援を継続する。</li> <li>・国補助金等を活用し、公共施設を中心にさらなる再生可能エネルギー設備の導入を推進する。</li> </ul>																							
主担当課		環境モデル都市推進課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	太陽光発電システム設置基数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2,700 基	<table border="1"> <caption>太陽光発電システム設置基数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>2,700</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>2,900</td> <td>3,120</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>3,020</td> <td>3,610</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>-</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>-</td> <td>4,650</td> </tr> <tr> <td>H31年度</td> <td>-</td> <td>4,960</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26年度	2,700	-	H27年度	2,900	3,120	H28年度	3,020	3,610	H29年度	-	4,100	H30年度	-	4,650	H31年度	-	4,960
	年度	現状値	目指す値																						
	H26年度	2,700	-																						
H27年度	2,900	3,120																							
H28年度	3,020	3,610																							
H29年度	-	4,100																							
H30年度	-	4,650																							
H31年度	-	4,960																							
目標値	H31年度	4,960 基																							
実績値	H28年度	3,020 基																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	(特段の意見なし。)
		6	3				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定通りの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギーについては、導入事業者が減少傾向にあり、一層の推進には新たな促進策が必要。</li> <li>地域エネルギー会社の設立により、一層進捗することを期待する。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

**B:予定通りの成果が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる

1-3-3 住宅供給の推進

具体的な施策	施策名	既存住宅の流通支援		
	施策内容	既存住宅流通等促進奨励金交付制度を創設し、既存住宅の流通を支援します。		
	取組状況 (H28年度)	既存住宅流通等促進奨励金交付件数 8件 計 2,400,000円		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>特定の者に奨励金を交付することは一時的な効果・目に見えた結果は出るが、奨励金申請者の属性の把握を行わなかったため、(奨励金の交付が)既存住宅の流通支援や子育て世代の転入促進にどれだけ寄与したかどうかが疑問である。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>今後の市政の課題抽出、対応策検討の観点から、奨励金交付事業の効果分析材料とするため、申請者へのヒアリング等を実施する。</p>		
主担当課		都市計画課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	既存住宅流通等促進奨励金交付件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	50件	
	実績値	H28年度	10件	



具体的な施策	施策名	<b>既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進</b>
	施策内容	耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。
	取組状況 (H28年度)	<p><b>【都市計画課】</b> 住宅相談：月1回実施 年29件 空き家相談：2ヶ月に1回実施 年19件</p> <p><b>【建築課】</b> 空き家の実態調査において、アンケートを送付する際に補助金制度等のパンフレットを同封して情報提供を行った。そのアンケート回答に対しては、それぞれの空き家の今後の予定（賃貸・売却したい等）を把握した上で、各相談窓口の資料等を送付するなど、制度の推進を図った。また、特に耐震診断・改修工事の費用の一部を補助する制度の周知については広報や市ホームページを利用し、さらにNPO法人による耐震に関するフォーラムを開催するなど、必要な取組みを実施した。</p>
	取組状況に ついての課題等	<p><b>【都市計画課】</b> [良かった点・悪かった点] 住宅相談・空き家相談それぞれについて、適切な事業者の選定、空き家所有者の疑問点解消など、概ね相談者が抱える問題解決につながったと考える。 しかし、特に住宅相談は、予定相談枠数まで達しないことや、予約が無く取りやめになることもあった。 [H29年度の取組予定] 住宅相談については、今年度の動向をみて、回数等の変更も検討したい。また、空き家相談は、現行の相談体制を基本としつつ、利用率やニーズ等による改良も検討したい。</p> <p><b>【建築課】</b> [良かった点・悪かった点] 空き家の実態調査を行った際、上記による情報提供などによって周知が図れたが、今年度の実績には反映することができなかつたため、件数が伸びなかった。 [H29年度の取組予定] 空き家の増加に対する防止策として、新規事業として既存住宅の解体補助金制度を定め、窓口においても不動産業者に情報提供するなど、更なる補助制度の周知を図る。また、耐震に関するフォーラムを継続して行う。</p>

主担当課		都市計画課・建築課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	既存住宅耐震診断補助事業利用件数 [累計]			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	496件		
	目標値	H31年度	683件		
	実績値	H28年度	528件		
	指標名	改修補助等により耐震化した住宅の件数 [累計]			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	135件		
	目標値	H31年度	205件		
	実績値	H28年度	150件		

○総合戦略会議（全体会）からの平成28年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・業界、業者との一層の連携強化による認知度向上に取り組まれない。
	1	1	6	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・ホームページによる広報が、制度の紹介のみならず、既存住宅のリフォーム後の施行例を掲載するなど、もっと伝わりやすいよう改善されたい。
------------------------	--

○評価結果

**C:一定の成果が得られた**

基本目標 1 子育てしやすいまち

1-4 経済面での出産・子育ての不安を軽減する

1-4-1 子育て世帯への経済的支援

具体的な施策	施策名	医療費助成等																							
	施策内容	子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費の助成を中学校卒業までの子どものいる家庭に拡充するとともに不育症に対する治療費の助成を行います。																							
	取組状況 (H28 年度)	<p>【国保医療課】</p> <p>H28.8 月診療分から通院医療費の助成を中学校卒業まで拡大するため規則改正や申請等事務手続きを行い、助成を開始した。</p> <p>【健康課】</p> <p>不育症治療に要した検査費と治療費（医療保険適用分及び適用外分）の本人負担額の 2 分の 1 で、1 年度につき上限 15 万円を助成する「不育症治療費助成」を開始し、3 件の申請があった。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>【国保医療課】</p> <p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>対象世帯にも助成拡大の周知を行い、医療機関に助成拡大の協力を依頼し、大きな混乱なく助成を開始できた。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>H28 年度と同様に実施。</p> <p>【健康課】</p> <p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>不育症治療費助成を実施することにより、子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>H28 年度と同様に実施。H29 年度は、一般不妊治療費助成事業も開始し、子どもを望む夫婦の更なる経済的負担の軽減を図る。</p>																							
主担当課		国保医療課・健康課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	子育て世帯の医療サービスに関する満足度（市民満足度調査）※（H26・H28 は本調査、H27 は web 調査）																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	49.1 点	<table border="1"> <caption>満足度推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度 (点)</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>49.1</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49.9</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>53.4</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>51.4</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>52.2</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>53.0</td> <td>目指す値</td> </tr> </tbody> </table>	年度	満足度 (点)	属性	H26	49.1	現状値	H27	49.9	現状値	H28	53.4	現状値	H29	51.4	現状値	H30	52.2	現状値	H31	53.0	目指す値
	年度	満足度 (点)	属性																						
	H26	49.1	現状値																						
H27	49.9	現状値																							
H28	53.4	現状値																							
H29	51.4	現状値																							
H30	52.2	現状値																							
H31	53.0	目指す値																							
目標値	H31 年度	53.0 点																							
実績値	H28 年度	53.4 点																							

※市民満足度調査による一般の医療サービスに関する満足度を 100 点満点（満足 100 点、やや満足 75 点、普通 50 点、やや不満 25 点、不満 0 点）で評価したもの。就学前の子ども、小学校、中学校の子どもを持つ回答者の平均値。

具体的な施策	施策名	<b>母子保健の充実</b>																							
	施策内容	健やかな妊娠・出産を迎えるための妊婦一般健康診査の費用助成を行います。また、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などの事業により、育児支援を行います。																							
	取組状況 (H28年度)	全国の協力産婦人科医院と個別契約を締結し、妊婦健診にかかる費用の窓口負担分の軽減を行い、受診しやすい環境整備を行った。また、乳幼児健康診査（3か月・7か月・12か月・3歳6か月）を小児科医療機関の協力の下実施し、1歳6か月児健診については、多職種が携わる集団健診を実施し育児支援を行うなど、必要な取り組みを全て行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>個別契約により、全国どの地域であっても受診券が使えるため、窓口での自己負担額の軽減を図れた。</p> <p>1歳6か月児健康診査においては、集団健診方式を導入しているため、受診勧奨や未受診追跡等を徹底して行ってきたが、H28年度は前年度より受診率が低下し、約96%となった。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>妊婦健診の助成額を、8万5千円から9万2千円に引き上げ、妊婦の経済的負担を軽減する。また、使いやすさを考慮し、妊婦健康診査補助券（基本券と追加券）の追加券の金種を2種類（1,000円と2,000円）にし、支払いの際に使いやすいものに変更。</p> <p>また、妊娠中の支援に繋げるため、補助券内に健診結果記入欄を設け、健診費用請求時に健診結果を把握できるよう変更する。</p>																							
主担当課		健康課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	乳幼児健診受診率																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	98.1%	<table border="1"> <caption>乳幼児健診受診率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>受診率 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>98.1</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>96.4</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>96.1</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>-</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>-</td> <td>99.0</td> </tr> <tr> <td>H31年度</td> <td>-</td> <td>99.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	受診率 (%)	目標値 (%)	H26年度	98.1	99.0	H27年度	96.4	99.0	H28年度	96.1	99.0	H29年度	-	99.0	H30年度	-	99.0	H31年度	-	99.0
	年度	受診率 (%)	目標値 (%)																						
	H26年度	98.1	99.0																						
H27年度	96.4	99.0																							
H28年度	96.1	99.0																							
H29年度	-	99.0																							
H30年度	-	99.0																							
H31年度	-	99.0																							
目標値	H31年度	99.0%以上																							
実績値	H28年度	96.1%																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・医療費助成を中学生まで拡大したこと等により、子育て世帯の満足度は大きく向上しており、評価できる。
	2	6	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定通りの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・乳幼児健診受診率が低下傾向にあり、その要因分析とともに対策を講じられたい。
------------------------	--

○評価結果

B:予定通りの成果が得られた
----------------

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-1 企業での多様な働き方を広げる

2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進

具体的な施策	施策名	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発
	施策内容	仕事と育児の両立を促進するため、市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。
	取組状況 (H28 年度)	<p>【男女共同参画プラザ】 市民を対象としたワーク・ライフ・バランスの普及啓発を図るための講座・イベント・パネル展等を開催するとともに、産官学合同のイクボス宣言式を開催し、ワーク・ライフ・バランスの一層の促進を図った。</p> <p>【経済振興課】 市内公共施設等でパンフレット等で PR を実施した。</p>
	取組状況に ついての課題等	<p>【男女共同参画プラザ】 [良かった点・悪かった点] ワーク・ライフ・バランスへの取組は一定推進できたが、今後は、国が推進している女性活躍推進や働き方改革に沿った事業を進めて行く必要がある。</p> <p>[H29 年度の取組予定] 災害とジェンダーをテーマとした講座開催</p> <p>【経済振興課】 [良かった点・悪かった点] 対象となるターゲット層への訴求が不十分であった。</p> <p>[H29 年度の取組予定] テレワーク&amp;インキュベーションセンターイコマドを核として市内事業者等にも引き続き PR を実施。</p>
主担当課	男女共同参画プラザ・経済振興課	

K P I 重要業績評価指標	指標名	男性の平日の家事労働時間「全くしない」人の割合		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	18.3%	
	目標値	H31 年度	14.5%	
	実績値	H28 年度	12.1%	

K P I 重要な業績評価指標	指標名	テレワーク導入件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	2 件	
	実績値	H28 年度	0 件	

具体的な施策	施策名	<b>テレワークの推進【加速化対象、推進対象】</b>	
	施策内容	ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て層の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの整備等を図り、テレワークの普及促進に取り組めます。	
	取組状況 (H28 年度)	H29. 3. 13 にテレワーク&インキュベーションセンターをオープンした。	
	取組状況に ついての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>オープンが年度末となったことから、テレワーク導入企業の掘り起しは年度末時点では十分でない。なお、活発な PR をした結果、短期間のテレワーク利用件数としては 15 件の利用があった。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>テレワーク&amp;インキュベーションセンターイコマドの指定管理者による指定管理を行うことにより、より柔軟に企業に対する利用の働きかけを行うとともに、テレワークの推進について同センターを中心に行っていく。</p>	
主担当課		経済振興課	

具体的な施策	施策名	<b>女性の活躍推進</b>																							
	施策内容	男女がそれぞれ、個性や能力を發揮した生きがいのある人生をおくれるよう、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組めます。																							
	取組状況 (H28年度)	<p>【男女共同参画プラザ】 各種講座の開催や女性相談等を通して、女性のエンパワーメント向上につながる一定の取組を行った。</p> <p>【人事課】 H28.3月に策定した生駒市特定事業主行動計画に基づき、市役所の職場環境改善やワーク・ライフ・バランスの啓発・実践に取り組んだ。具体的には、職員の子どもが親の職場を参観（見学）する「子ども参観日」の開催、市内の産官学合同イクボス宣言の実施のほか、男女共同参画をテーマとした管理職研修を行った。また、子育て職員への支援と管理職の意識向上を目的に「仕事と子育て両立支援ハンドブック」を作成したほか、育児休業等している職員への情報提供や情報共有が可能となる情報交流サイトを開設した。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>【男女共同参画プラザ】 [良かった点・悪かった点] 高齢者や子育て中の参加者など、幅広い参加が見込める工夫が必要である。 [H29年度の取組予定] 仕事を持つ方々にも参加しやすいよう、土曜日開催の講座を増やす。</p> <p>【人事課】 [良かった点・悪かった点] ワーク・ライフ・バランスの重要性を周知することで働きやすい職場環境づくりに一定の効果があった。今後は、管理職の意識向上と率先垂範を促すための取組が重要と考える。 [H29年度の取組予定] 管理職を対象に、イクボス宣言の趣旨に沿った実践のための研修を実施予定。</p>																							
主担当課	男女共同参画プラザ・人事課																								
重要業績評価指標 KPI	指標名	市役所における女性管理職員の割合																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	21.8%	<table border="1"> <caption>女性管理職員の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>21.8</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22.4</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>24.0</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>25.0</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>28.0</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>30.0</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	21.8	30.0	H27	22.4	30.0	H28	24.0	30.0	H29	25.0	30.0	H30	28.0	30.0	H31	30.0	30.0
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	21.8	30.0																						
H27	22.4	30.0																							
H28	24.0	30.0																							
H29	25.0	30.0																							
H30	28.0	30.0																							
H31	30.0	30.0																							
目標値	H31年度	30.0%																							
実績値	H28年度	24.0%																							



補助指標		女性の就業率※	
		生駒市	(全国)
現状値	H27年 国勢調査	41.7%	45.4%
実績値	H29年 満足度調査	41.6%	***
(参考)	H22年 国勢調査	38.5%	44.7%

※国勢調査における就業率は、15歳以上の人口の中で、実際に働いている人の割合を算出。満足度調査における就業率は調査対象である18歳以上の無作為抽出者の中で、実際に働いていると回答した人の割合を算出。

### ○総合戦略会議（全体会）からの平成28年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・ワーク・ライフ・バランスの普及啓発活動やテレワーク推進による女性就業機会の拡大など、女性活躍推進に向けた有効な施策が掲げられており、継続した取組により効果が期待できる。
	1	1	6	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・テレワーク&インキュベーションセンターは、人が集まることによって刺激し合い、新たなネットワークが生まれる場にすべき。そのためにも、子連れでも利用可能にできる方策を検討されたい。
------------------------	---

### ○評価結果

<b>C:一定の成果が得られた</b>
---------------------

**基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち**

**2-2 市内での雇用を生み出す事業活動を伸ばす**

**2-2-1 市内産業の活性化**

具体的な施策	施策名	<b>企業の誘致</b>																							
	施策内容	工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、新たな企業誘致に取り組みます。																							
	取組状況 (H28年度)	H31年度の目標値 20社へ向けて、一年度2社程度の認定を進めていく中で、高山第一工区で2件、学研生駒テクノエリアで2件認定するなど、計画以上の取り組みを行った。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 課題としては、学研生駒テクノエリアにおいては誘致に適切に整備された土地に限りがある。 [H29年度取組予定] H29年度に2社の認定を目標とし、引き続き企業誘致活動に取り組む。																							
主担当課		経済振興課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	誘致企業 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	11社	<table border="1"> <caption>誘致企業数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>16</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	11	11	H27	12	12	H28	16	14	H29	16	16	H30	18	18	H31	20	20
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	11	11																						
H27	12	12																							
H28	16	14																							
H29	16	16																							
H30	18	18																							
H31	20	20																							
目標値	H31年度	20社																							
実績値	H28年度	16社																							

具体的な施策	施策名	<b>設備導入等支援事業【先行型対象】</b>		
	施策内容	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。		
	取組状況 (H28年度)	機器購入等の経費 (3,000万円を上限) の10%の補助 (300万円を上限) を行い、合計8件の商工業者の事業に対して、合計1,000万円の補助金を交付し、必要な取り組みを全て行った。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] H27年度は1件あたりの申請額が多く、制度を利用できる事業者が少なくなったため、上限額 (5,000万円→3,000万円) を変更し、		

		<p>H28 年度は前年より予算額が減っている中多くの事業者に利用してもらうことができた。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>H29 年度の目標は、H27 年度～31 年度までに合計 24 社という目標値を達成するため 4 件とした。また、補助対象の上限を 1,500 万円に引き下げ、「H27・28 年度に補助金を利用している場合対象としない」という変更を加える。</p>		
	主担当課	経済振興課		
K P I  重 要 業 績 評 価 指 標	指標名	機器設備導入企業における売上増 [累計] H26 年度比		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	2.0%	
	実績値	H27 年度	6.7%	
	指標名	機器導入件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	
	目標値	H31 年度	24 件	
	実績値	H28 年度	20 件	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度の取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・企業誘致は、ハードルは高いが、その効果は大きく、引き続き、継続的な誘致活動に取り組まいたい。
		8	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・企業誘致活動には、商工会議所等各団体や金融機関との連携が効果的であるととも に、支援制度としては、補助金のみならず、幅広い支援策を検討する必要がある。
------------------------	---

○評価結果

B: 予定通りの成果が得られた
-----------------

**基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち**

**2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる**

**2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成**

具体的な施策	施策名	<b>産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施</b>																							
	施策内容	<p>起業意欲のある女性（子育て層）によるビジネスの立ち上げを目指し、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を開催します。</p> <p>また、ビジネスプランコンテストを開催して、飛躍的な成長が期待できる起業者を認定し、集中的な育成支援を行います。</p>																							
	取組状況 (H28年度)	<p>テレワーク&amp;インキュベーションセンターイコマドのオープンに伴い開催するセミナーのひとつとして、帝塚山大学の准教授を講師に、セミナーを開催した。</p>																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]                  経営学部のマーケティングを専門とする方を講師として招いたことで、受講者にとってより具体的な内容となった。</p> <p>[H29年度の取組予定]                  産学官連携事業として、帝塚山大学の講師を中心とした、複数回の講座を予定。</p>																							
主担当課		経済振興課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	交流会の参加者数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>交流会の参加者数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>211</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>245</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	211	8	H28	245	16	H29	-	24	H30	-	32	H31	-	40
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	211	8																							
H28	245	16																							
H29	-	24																							
H30	-	32																							
H31	-	40																							
目標値	H31年度	40人																							
実績値	H28年度	245人																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・交流会の参加者数から、相応の効果はあったと評価する。
	3	6					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流会参加で終わるのではなく、参加したことがきっかけでネットワークの形成に繋げることが重要である。</li> <li>・交流会等参加者のニーズ喚起の後、具体的な支援施策とセットで環境整備を行う必要がある。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

**B: 予定どおりの成果が得られた**

**基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち**

**2-3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる**

**2-3-2 起業に対するきめ細かな支援の充実**

具体的な施策	施策名	<b>起業者を支援する体制づくり及び情報発信【加速化対象】</b>		
	施策内容	ベルテラスいこまのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導等の包括的な起業者の育成支援を実施します。 また、そうした支援を効果的に行うための情報発信やワンストップ窓口の設置、起業支援セミナーの開催などを行います。		
	取組状況 (H28年度)	多様な働き方を支援するテレワーク&インキュベーションセンターイコマドを開設し、創業支援のワンストップ窓口を市に設置した。認定創業支援事業計画において、生駒商工会議所に加えて奈良県よろず支援拠点を追加し、創業希望者を支援する体制を強化した。		
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] ワンストップ窓口の体制が整い、各創業支援機関の連携が充実した。 [H29年度取組予定] 各支援機関が実施しているセミナー等についての積極的な情報発信を行う。アンテナショップおちやせんにおけるチャレンジ商品の販売を行う。		
主担当課	経済振興課			
KPI 重要業績評価指標	指標名	創業支援対象者数 (うち、女性の対象者数)		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	30人	
	実績値	H28年度	55人 (28人)	
	指標名	起業支援セミナー件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	3件	
	目標値	H31年度	12件	
	実績値	H28年度	8件	

具体的な施策	施策名	<b>起業支援スペース等の整備【加速化対象、推進対象】</b>																							
	施策内容	店舗運営をしたい子育て層の女性起業家に対して、経営指導員等の専門家からのアドバイスを受けながら試験的に店舗を運営し、事業の実現性を高めていく支援を行う場として、起業支援スペース等を整備し、起業者をハード、ソフトの両面から支援していきます。																							
	取組状況 (H28年度)	H29.3.13 に生駒市テレワーク&インキュベーションセンターイコマドをオープンした。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>オープンは年度末となったが、市と支援機関共催の交流会も含め、起業支援スペースとして女性起業家に多数の利用をいただいた。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>インキュベーションオフィスを中心に積極的に利用を呼び掛けるほか、新規起業家の掘り起しを行い、関係機関と連携し、積極的な支援を行う。</p>																							
主担当課		経済振興課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	起業支援スペース延べ利用件数 (うち、女性の利用件数)																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>起業支援スペース延べ利用件数 (うち、女性の利用件数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>16</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H31年度</td> <td>-</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26年度	0	0	H27年度	0	0	H28年度	16	1	H29年度	-	2	H30年度	-	3	H31年度	-	4
	年度	現状値	目指す値																						
	H26年度	0	0																						
H27年度	0	0																							
H28年度	16	1																							
H29年度	-	2																							
H30年度	-	3																							
H31年度	-	4																							
目標値	H31年度	4件																							
実績値	H28年度	16件 (5件)																							
具体的な施策	施策名	<b>起業家支援融資に係る利子補給</b>																							
	施策内容	市内産業の活性化に向けて、市内起業家を対象とした、起業費用に対する低利融資・利子補給を行います。																							
	取組状況 (H28年度)	起業の具体的な計画がある又は起業後6ヵ月以内の個人・法人を対象に融資を行い、H29年中に支払いがあった利子の補給を行うなど、必要な取り組みを行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>課題としては、起業を希望する人の掘り起こしが足りていないため、融資を必要とする人に情報が伝わっていない可能性がある点。</p>																							

		[H29年度の取組予定] 信用保証協会や奈良県よろず支援拠点等の支援機関、取扱金融機関と情報交換を密に行い、制度の周知、利用の促進を行う。	
主担当課		経済振興課	
重要業績評価指標 KPI	指標名	起業支援融資件数 [累計]	
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2件
	目標値	H31年度	12件
	実績値	H28年度	4件

年度	現状値	目指す値
H26	2	2
H27	3	4
H28	4	6
H29	8	8
H30	10	10
H31	12	12

○総合戦略会議（全体会）からの平成28年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・テレワーク&インキュベーションセンターイコマドの整備に加え、創業支援対象者の発掘等、相応の成果を見ることができ、評価できる。
	2	7					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の創業については、経営や事業に関する知識・スキル不足といった課題を解決できるよう、メンターの存在が重要であり、女性経営者との交流や経営に関するセミナー等も支援策として必要なのではないかと。</li> <li>・起業支援希望者に対して、具体的に何をしていくのかを明示するとともに、商工会議所や金融機関等関係機関との連携を一層強化する必要がある。</li> <li>・創業者に対する融資が、以前より厳しくなっており、利子補給ではない、創業者にとって使いやすく、効果的な仕組みを検討されたい。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

**B: 予定どおりの成果が得られた**



**基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち**

**2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる**

**2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出**

具体的な施策	施策名	<b>地域型保育事業の整備</b>																							
	施策内容	保育ニーズの高い地域を対象として、待機児童を解消するため、空き家等も活用した地域型保育事業の積極的な展開を進めます。																							
	取組状況 (H28年度)	H28. 4月 54人定員 (地域枠 18人) 事業所内保育事業所開園 H28. 11月 19人定員 小規模保育所開園 以上のとおり必要な取組を概ね行った。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 地域型保育事業所の新設に伴い待機児童解消への前進となったが、そのための用地確保や3歳児の受入のための連携施設の不足が危惧される。 [H29年度の取組予定] 小規模保育所を2園新設し、待機児童解消に取り組む。																							
主担当課		こども課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域型保育事業開設件数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>地域型保育事業開設件数の推移と目標</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	3	3	H28	5	5	H29	-	6	H30	-	7	H31	-	8
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	3	3																							
H28	5	5																							
H29	-	6																							
H30	-	7																							
H31	-	8																							
目標値	H31年度	8件																							
実績値	H28年度	5件																							

具体的な施策	施策名	<b>ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上</b>		
	施策内容	ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。		
	取組状況 (H28年度)	広報いこまちや北・南コミュニティセンターでの出張登録会、また地域デビューガイダンスでの援助会員募集を行うとともにファミリーサポート事業の周知を行った。 援助活動の前には依頼会員・援助会員・アドバイザーによる現地事前打合せを必ず行い、事故が起こらないように指導を実施した。		

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>利用件数は前年度とほぼ同じ（7.3 件/日）であった。地区により援助会員が非常に少ないところがあり、今後も機会をとらえ該当地区の援助会員募集をかけていく。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>通常取組に加えて、該当地区への援助会員募集啓発。</p>																								
	主担当課	子育て支援総合センター																								
重要業績評価指標 KPI	指標名	ファミリーサポートの利用件数																								
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	2,223 件	<table border="1"> <caption>ファミリーサポートの利用件数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26 年度</td> <td>2,223</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>H27 年度</td> <td>2,642</td> <td>2,400</td> </tr> <tr> <td>H28 年度</td> <td>2,652</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>H29 年度</td> <td>-</td> <td>2,600</td> </tr> <tr> <td>H30 年度</td> <td>-</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>H31 年度</td> <td>-</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	目標値	H26 年度	2,223	2,600	H27 年度	2,642	2,400	H28 年度	2,652	2,500	H29 年度	-	2,600	H30 年度	-	2,700	H31 年度	-	2,700
	年度	現状値	目標値																							
	H26 年度	2,223	2,600																							
H27 年度	2,642	2,400																								
H28 年度	2,652	2,500																								
H29 年度	-	2,600																								
H30 年度	-	2,700																								
H31 年度	-	2,700																								
目標値	H31 年度	2,700 件																								
実績値	H28 年度	2,652 件																								

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度取組状況に対する評価・コメント

参加者の評価	A	B	C	D	E	進捗評価について 主な意見	・事業所内保育事業所や小規模保育所の開園は評価でき、今後も継続して取り組まれない。
		8	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組についての参考意見	・ファミリーサポート事業の、地域によって温度差があることについては、情報発信の方法、頻度等の再考が必要ではないか。
----------------	---

○評価結果

<b>B: 予定どおりの成果が得られた</b>
-------------------------

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出

具体的な施策	施策名	介護関係資格取得費の支援		
	施策内容	市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行います。		
	取組状況 (H28年度)	介護未経験者・初任者（就労1年以内）の方に対して、広報いこまち・市ホームページ等で周知・募集し、介護職員初任者研修の受講に係る経費について一人当たり5万円を限度に助成した。H27年度よりも助成条件を緩和（非常勤の就労時間数の制限をなくした）して応募対象者を増加させた。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>非常勤の就労時間数の条件を緩和することにより、子育て期間中や定年退職後の就労にも対応できた。一方、市内の法人に採用されても勤務地が市外である場合、また、勤務地が市内であっても市外在住の場合は助成対象とならなかった。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>研修期間や介護施設への個別紹介を進めるとともに、さらに周知の範囲を広げるため、市内の図書館を併設する公共施設を中心に助成金案内リーフレットを配置するほか、子育て支援関連施設にも情報提供を広げていく予定である。</p>		
主担当課		介護保険課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	資格取得支援者数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	100人	
	実績値	H28年度	8人	

具体的な施策	施策名	地域密着型サービス事業所の整備																							
	施策内容	住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。																							
	取組状況 (H28年度)	第6期介護保険事業計画に基づき、看護小規模多機能型居宅介護事業者の公募を行ったが、応募がなかった。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]  介護人材確保の問題と、整備条件（主に補助金関係）が事業所にとってハードルの高いものであったことが課題であるとする。</p> <p>[H29年度取組予定]  認知症対応型共同生活介護等の公募を行い、整備を進めていくとともに、第7期介護保険事業計画の策定において上記の課題を解決できるような内容を盛り込んでいきたい。</p>																							
主担当課		介護保険課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	地域密着型サービス事業所数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	11箇所	<table border="1"> <caption>地域密着型サービス事業所数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>11</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	11	-	H27	12	11	H28	12	11	H29	-	11	H30	-	16	H31	-	16
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	11	-																						
H27	12	11																							
H28	12	11																							
H29	-	11																							
H30	-	16																							
H31	-	16																							
目標値	H31年度	16箇所																							
実績値	H28年度	12箇所																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・介護関係資格取得費の支援については、今後継続的にPRするとともに、幅広く活用いただくため、今一度ニーズをヒアリングし、助成対象先（勤務地、居住地等）の拡大等再検討が必要である。
		1	7	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・市単独で検討するのではなく、国や県と連携し、介護人材の確保に取り組まれない。
------------------------	---

○評価結果

**C:一定の成果が得られた**

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

2-4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

2-4-3 食に関する地域産業の創出

具体的な施策	施策名	<b>新規就農の支援</b>																							
	施策内容	農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。																							
	取組状況 (H28年度)	新規就農希望者に対し、貸出し可能な農地の見学をしてもらうなど、農地情報の提供や農地の斡旋を行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>新規就農希望者を対象とした「新農業人フェア」に出展したり、希望者に農地を斡旋したことにより、新規就農者が増加した。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>引き続き、農地の斡旋を行うとともに、貸出し（売却）可能な農地の掘り起こしを行う。</p>																							
主担当課		農業委員会事務局																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	新規就農者数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	6人	<table border="1"> <caption>新規就農者数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>18</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	6	4	H27	10	5	H28	18	6	H29	-	7	H30	-	8	H31	-	9
	年度	現状値	目標値																						
	H26	6	4																						
H27	10	5																							
H28	18	6																							
H29	-	7																							
H30	-	8																							
H31	-	9																							
目標値	H31年度	9人																							
実績値	H28年度	18人																							

具体的な施策	施策名	<b>農産物の加工・特産品の開発支援</b>
	施策内容	農家と地元飲食店との交流機会の創出や、空き農地を活用した生駒市ならではの農作物や果樹の栽培などの取組の中から、農産物の加工、特産品の開発への支援を進めます。
	取組状況 (H28年度)	H28年度においては、商工観光ビジョンの組織内に農業分科会を設置し、生駒市農業ビジョン推進懇話会にて、様々な意見を頂き、それを元に検討を行った。

	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 意見聴取はブレインストーミング方式で行ったため、様々な意見を聞くことが出来た。</p> <p>[H29年度の取組予定] 農家向け、飲食店向けそれぞれにアンケート調査を実施。（アンケートは市が作成）需要と供給の内容を把握する予定。</p>		
	主担当課	経済振興課		
K P I 重要業績評価指標	指標名	支援件数 [累計]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	3件	
	実績値	H28年度	0件	

具体的な施策	施策名	<b>地産地消の推進</b>		
	施策内容	黒大豆をはじめ学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大を進めるとともに、地場農産物の販売コーナーの設置などに取り組みます。		
	取組状況 (H28年度)	学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大については、H28年度においても新規生産者の確保を行い、一定の取組を行った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 生産拡大を進めるためには、補助金等の支援の継続が望まれる。</p> <p>[H29年度の取組予定] 現在、補助金等の支援を行っている作物の変更を含めた検討を生駒市農業ビジョン推進懇話会にて行う。</p>		
	主担当課	経済振興課		
K P I 重要業績評価指標	指標名	黒大豆の作付面積		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	222 a	
	目標値	H31年度	250 a	
	実績値	H28年度	253 a	

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の増加など評価できるものの、特産品の開発等見直しが必要なものもある。</li> <li>・地元と協力体制を構築し、就農者の支援や地産地消の推進に取り組まれない。</li> </ul>
	1	6	2				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の増加や、現就農者の定着を図るため、6次産業化の推進、特産品のPR、販路拡大等、事業として継続できる体制を検討する必要がある。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

**B: 予定どおりの成果が得られた**



基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-1 イベントの開催

具体的な施策	施策名	イコマニア 100 の実施																							
	施策内容	市主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア」として認定し、情報発信することで、楽しいまちづくりを実現し、子育て世帯の定住や転入に繋げる。																							
	取組状況 (H28 年度)	H27 年度にイコマニアのシンボルとなるロゴマークのデザインを一般公募(84 作品)後、H28 年度に市内各種団体 18 団体より構成されるロゴマーク選定委員会を開催し、ロゴマーク選定、6. 28 表彰式実施。7. 1 に「イコマニア・イベント」認定要綱施行。 申請のあったイベントについて認定要綱に基づきロゴマークの使用を認めるとともに、団体の希望に応じイベント開催時にロゴマークの横断幕・のぼりの貸出し等や広報いこまち・ポスター・市ホームページ等で認定イベントの情報発信を行うことで広報支援を実施した。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 広報支援をしてもらえることにより団体のことを知らない方々からの問い合わせがあったり、認定を受けることによりイベントへの信頼感につながっており、3 者（市民・団体・行政）にとってもいい制度との声が寄せられている。一方で、事務手続きに時間がかかることから、簡素化を進めていく必要がある。 [H29 年度の取組予定] ・保険加入（傷害・賠償責任保険）を行う。 ・下半期には認定された団体へ対しアンケートを実施予定。																							
主担当課		市民活動推進課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	イコマニア 100 開催回数 [累計]																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	***	<table border="1"> <caption>イコマニア 100 開催回数 [累計]</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>63</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>40</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>60</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>80</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	20	20	H28	63	40	H29	40	60	H30	60	80	H31	80	100
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	20	20																							
H28	63	40																							
H29	40	60																							
H30	60	80																							
H31	80	100																							
目標値	H31 年度	100 回																							
実績値	H28 年度	63 回																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・「イコマニア」の開催回数等、取組は順調に進んでいる。今後も認知度向上のため、効果的な情報発信に努められたい。
	1	8					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・継続して実施することで、最終的に子育て世代の転入に繋がるよう、取り組まれたい。
------------------------	--

○評価結果

**B:予定どおりの成果が得られた**

**基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち**

**3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり**

**3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・クリエイション活動への参加機会の創出**

具体的な施策	施策名	<b>文化芸術活動への参加機会の創出</b>		
	施策内容	小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て層の文化芸術活動への参加を促進する。		
	取組状況 (H28年度)	市民みんなで創る音楽祭の事業として「0才から楽しめるファミリーコンサート」や「次世代へ届けたい物語と音楽～星の王子さま～」を開催。乳幼児連れのご家族が多く来場され、お子さんやお孫さんとともに音楽にふれ、楽しんでいただいた。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>市民みんなで創る音楽祭により、乳幼児を対象とした複数の事業を開催することができた。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>市民吹奏楽団による「0才から楽しめるファミリーコンサート」の開催。その他、市民みんなで創る音楽祭事業の実施。（具体的な事業内容は未定）</p>		
主担当課		生涯学習課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	0歳から楽しめるファミリーコンサートの参加者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	800人	
	実績値	H28年度	1,182人	

具体的な施策	施策名	<b>子どもを対象としたスポーツイベントの開催</b>
	施策内容	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツイベントを開催する。
	取組状況 (H28年度)	小学生スポーツふれあいデーや体育館無料開放事業等、子どもを対象としたスポーツを始めるきっかけとなるようなスポーツ事業を開催した。

		また、子どもの体力向上施策として、陸上長距離走記録会や水泳競技大会など種目別のスポーツ競技会を開催した。
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>体育館無料開放事業については事前申込の必要がなく、また競技性の低い事業であるため、参加者も多く安定した事業運営を図る事ができた。</p> <p>また、陸上競技や水泳競技などは、学年に関係なく気軽に行うことができる競技種目であり、その発表の場としての陸上記録会や水泳大会の開催は有意義なものであると考えている。</p> <p>なお、小学生スポーツふれあいデーについては、小学生全学年を対象としている事業であり、それぞれの学年に応じた種目で、且つスポーツの楽しさを伝える基準が難しく、参加者全ての満足度の向上を目指し、内容等の検討が必要である。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>体育館無料開放事業や陸上長距離走記録会、水泳競技大会等の子どもを対象としたスポーツ事業を開催する。</p> <p>また、障がい児のスポーツ活動による発育支援のため、体育施設にスウィング系遊具等の配置の予定をしており、障がい児を含む障がい者を対象としたスポーツイベントを開催する。</p>

	主担当課	スポーツ振興課
--	------	---------

KPI 重要業績評価指標	指標名	子どもを対象としたスポーツイベントなどの参加者数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	2,251人	<table border="1"> <caption>参加者数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>2,251</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2,301</td> <td>1,850</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>2,255</td> <td>1,950</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>2,350</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目標値	H26	2,251	1,800	H27	2,301	1,850	H28	2,255	1,950	H29		2,000	H30		2,300	H31		2,350
	年度	現状値	目標値																						
	H26	2,251	1,800																						
H27	2,301	1,850																							
H28	2,255	1,950																							
H29		2,000																							
H30		2,300																							
H31		2,350																							
目標値	H31年度	2,350人																							
実績値	H28年度	2,255人																							

具体的な施策	施策名	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催
	施策内容	市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催する。
	取組状況(H28年度)	市が市内総合型地域スポーツクラブや体育施設指定管理者等と連携し、トップアスリート等と触れ合えるスポーツイベントやスポーツスクールを開催し、子どもたちがスポーツに憧れや夢を抱くことができるようにするとともに、スポーツを身近に感じることができる機会を創出した。

	<p>取組状況についての課題等</p>	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>普段は触れ合うことができないアスリートから直接指導を受けられることや、アスリートの技術を目の当たりにできたことは、子どものみならず、大人もスポーツに憧れや夢を抱くことができ、スポーツの楽しさを実感してもらうことができた。</p> <p>また、H28年度については、1ヵ月間という短期間で、4種目のアスリート連携事業が開催できたことは、より多くの市民のスポーツニーズに対応でき、その期間の市民のスポーツに対する意識の高揚が図れたものと感じている。</p> <p>今後は、本事業によりアスリートから得た感動や、スポーツの楽しさを、市民のスポーツ活動にどの様に繋げていくかが重要である。</p> <p>※ 指標の「市内各種スポーツイベントの参加者数」については、市主催のイベントのみカウントしており、総合型地域スポーツクラブや体育施設指定管理者の自主事業などを含めると、スポーツをする人は増加傾向にある。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>トップレスラーによるトレーニング指導。 元プロフットサル選手によるフットサル教室。 総合型地域スポーツクラブとバンビシヤス奈良の連携によるバスケットボールとチアダンススクール。</p>							
<p>主担当課</p>	<p>スポーツ振興課</p>								
<p>重要業績評価指標 KPI</p>	<p>指標名</p> <p>市内各種スポーツイベントの参加者数</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="526 1272 679 1361"> <p>現状値 (総合戦略策定時)</p> </td> <td data-bbox="679 1272 938 1361"> <p>H26年度</p> <p>20,661人</p> </td> <td data-bbox="938 1272 1407 1361" rowspan="3"> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="526 1361 679 1451"> <p>目標値</p> </td> <td data-bbox="679 1361 938 1451"> <p>H31年度</p> <p>21,000人</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="526 1451 679 1541"> <p>実績値</p> </td> <td data-bbox="679 1451 938 1541"> <p>H28年度</p> <p>18,549人</p> </td> </tr> </table>	<p>現状値 (総合戦略策定時)</p>	<p>H26年度</p> <p>20,661人</p>		<p>目標値</p>	<p>H31年度</p> <p>21,000人</p>	<p>実績値</p>	<p>H28年度</p> <p>18,549人</p>
<p>現状値 (総合戦略策定時)</p>	<p>H26年度</p> <p>20,661人</p>								
<p>目標値</p>	<p>H31年度</p> <p>21,000人</p>								
<p>実績値</p>	<p>H28年度</p> <p>18,549人</p>								

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・各種イベントについて、相応の参加者数があり一定の効果が見られる。今後も参加者の意見収集等によりニーズを探り、より充実したイベント開催を期待する。
	2	7					

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	・継続して実施することで、最終的に子育て世代の転入につながるよう取り組まれない。
------------------------	--

○評価結果

**B:予定どおりの成果が得られた**

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-3 教育環境の充実

具体的な施策	施策名	学校図書館司書の配置の拡充																							
	施策内容	学校図書館の利用を促進し、市立図書館との連携を深めることで、子どもの読書を促進し、読書の楽しさや大切さを伝えるため、小中学校に図書館司書を配置します。																							
	取組状況 (H28 年度)	小中学校 19 校中 14 校に週 2 日、5 校に週 3 日、学校司書を配置し、読書活動を活性化した。また、ビブリオバトル大会に参加し、読書活動の推進を図るなど、必要な取組を概ね行った。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>本選びのアドバイスや絵本の読み聞かせで児童生徒の読書意欲が向上した。一方で、中学生の読書意識の改善が低くなっている。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>全小中学校に学校司書を週 3 日配置。</p>																							
主担当課		教育指導課																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	1 日 30 分以上読書をしている児童生徒の割合																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	33.0%	<table border="1"> <caption>読書率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値 (%)</th> <th>目指す値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>33.0</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>33.1</td> <td>34.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>30.3</td> <td>35.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>36.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>36.7</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>37.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)	H26	33.0	34.0	H27	33.1	34.7	H28	30.3	35.3	H29	-	36.0	H30	-	36.7	H31	-	37.0
	年度	現状値 (%)	目指す値 (%)																						
	H26	33.0	34.0																						
H27	33.1	34.7																							
H28	30.3	35.3																							
H29	-	36.0																							
H30	-	36.7																							
H31	-	37.0																							
目標値	H31 年度	37.0%																							
実績値	H28 年度	30.3%																							

具体的な施策	<b>施策名</b>	<b>高山スーパースクールゾーン構想</b>
	<b>施策内容</b>	市内初の施設一体型小中一貫校（生駒北小中一貫校）を新設し、9年間を見通した教育課程の作成や、奈良先端科学技術大学院大学との連携事業など特色ある先進的な教育プログラムを実践します。また、就学前の教育、保育を総合的にサポートするため、幼保連携型認定こども園を開園します。
	<b>取組状況 (H28年度)</b>	<p><b>【教育総務課】</b> 生駒北小中学校新校舎の建設を完了し、引き続き使用する屋内運動場及びプール改修を実施した。</p> <p><b>【教育指導課】</b> いくつかの教科で小学校の教員が中学校の授業を教え、中学校の教員が小学校の授業を教える乗り入れ授業を実施し、体験学習などで特色ある授業を行った。また、先端大での特別授業を先端大に行き実施するなど必要な取組を概ね行った。</p> <p><b>【こども課】</b> (仮称) 高山認定こども園の設計図書が完成したことから、懇話会を1回開催した。</p>
	<b>取組状況に ついての課題等</b>	<p><b>【教育総務課】</b> [良かった点・悪かった点] 大規模工事にも関わらず、予定どおり工事を完了することができた。H29年度からの供用開始に合わせるべく多くの業務を行ったが、予定外の支出などが多くあり、予算編成段階でもっと念入りに何が必要になるのかを検討する必要がある。</p> <p>[H29年度の取組予定] 生駒北小学校の校舎を解体する予定である。</p> <p><b>【教育指導課】</b> [良かった点・悪かった点] 教員の負担は増えが、9年間の系統的なカリキュラムによる学習、小中教員協働による教育効果。地域と連携した特色ある学校教育。教員の負担増。</p> <p>[H29年度の取組予定] H28年度と同様に実施。</p> <p><b>【こども課】</b> [良かった点・悪かった点] (仮称) 高山認定こども園の計画が具体的になり、地域住民や保護者に示すことができた。</p> <p>[H29年度の取組予定] (仮称) 高山認定こども園がH30.4.1に開園できるよう、事業主と連絡を密にし、円滑な進行管理を図る。</p>



主担当課		教育総務課・教育指導課・こども課																							
K P I 重要業績評価指標	指標名	校区内公立小学校から公立中学校への進学率																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	82.0%	<table border="1"> <caption>進学率推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>82.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>87.2</td> <td>83.6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>89.2</td> <td>85.2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>86.8</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>88.4</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	82.0		H27	87.2	83.6	H28	89.2	85.2	H29		86.8	H30		88.4	H31		90.0
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	82.0																							
H27	87.2	83.6																							
H28	89.2	85.2																							
H29		86.8																							
H30		88.4																							
H31		90.0																							
目標値	H31 年度	90.0%以上																							
実績値	H28 年度	89.2%																							

K P I 重要業績評価指標	指標名	学校創造推進事業の実施回数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26 年度	1,718 回	<table border="1"> <caption>学校創造推進事業の実施回数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>1,718</td> <td>1,603</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,815</td> <td>1,640</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,743</td> <td>1,677</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td></td> <td>1,714</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td></td> <td>1,751</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td></td> <td>1,788</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	1,718	1,603	H27	1,815	1,640	H28	1,743	1,677	H29		1,714	H30		1,751	H31		1,788
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	1,718	1,603																						
H27	1,815	1,640																							
H28	1,743	1,677																							
H29		1,714																							
H30		1,751																							
H31		1,788																							
目標値	H31 年度	1,788 回																							
実績値	H28 年度	1,743 回																							

具体的な施策	施策名	<b>夢を与える講演会・学校創造推進事業</b>		
	施策内容	各界で活躍する方（経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか）を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。		
	取組状況 (H28 年度)	あこがれ“いこまびと”事業として、大学院教授、オリンピック銀メダリストの講演会を実施。学校創造推進事業として、各校で特色のある体験学習等を実施し、地域の方々との交流の機会を増やすなど、必要な取組を概ね行った。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>卒業生や自分の身近にいる社会で活躍している方の講演を聞いて、生徒に向上心が芽生えた。</p> <p>地域の方や保護者の支援を受けて特色のある教育活動を、各校園で実施できた。</p> <p>多種多様な体験学習を実施できるよう、各校で工夫していく。</p> <p>[H29 年度の取組予定]</p> <p>あこがれ“いこまびと”事業を2校で実施。</p> <p>学校創造推進事業を各校で実施。</p>		

主担当課		教育指導課		
------	--	-------	--	--

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度の実施状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・小中一貫校の立ち上げや、学校図書館司書の拡充、 各種講演会の開催等、教育に重点を置く市として評価で きる。引き続き、小中学生のニーズを把握し、取り組まれ たい。
		7	1	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定通りの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書の配置は、生徒の読書量増加に効果がある。</li> <li>・指標と取組にギャップがある。学校での司書配置割合、司書一人あたりの児童数、学校での読書量、貸出冊数などの指標も参考にされたい。</li> <li>・生駒市出身の世界で活躍する人を紹介することは、次世代の教育にとっても効果がある。</li> <li>・継続して実施することで、最終的に子育て世代の転入に繋がるよう取り組まれない。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

<b>B: 予定通りの成果が得られた</b>
------------------------

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり

3-1-4 協働による魅力創造

具体的な施策	施策名	生駒の魅力発信プロジェクト【先行型対象】																							
	施策内容	市民PRチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいいまちだ」というロコミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。																							
	取組状況 (H28年度)	フェイスブックチーム（10名）とフォトブック制作チーム（15名）に分かれて活動。写真や文章技術を高める講座を受講後、主体的に取材や撮影を行い、それぞれの媒体を通じて魅力を発信した。																							
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>地域への関与度合いが変化し、宣伝部員のまちへの愛情は格段に向上した。FBはページいいねが3000をこえ、フォトブックは市内飲食店にも配架し好評。コミュニケーションツールとなっている。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>フェイスブックチームは継続。新たに「キッズいこまち探検隊」を発足させ、子ども達向けのシビックプライド醸成事業に取り組む予定。</p>																							
主担当課		いこまの魅力創造課																							
KPI 重要業績評価指標	指標名	生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合 (H26・H28は本調査、H27はweb調査)																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	58.5%	<table border="1"> <caption>生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>58.5</td> <td>59.1</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>53.7</td> <td>59.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>61.0</td> <td>60.3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>60.9</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>61.5</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	58.5	59.1	H27	53.7	59.7	H28	61.0	60.3	H29	-	60.9	H30	-	61.5	H31	-	-
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	58.5	59.1																						
	H27	53.7	59.7																						
	H28	61.0	60.3																						
	H29	-	60.9																						
H30	-	61.5																							
H31	-	-																							
目標値	H31年度	61.5%																							
実績値	H28年度	61.0%																							
指標名	生駒市への居住を人に薦めたい人の割合 (H26・H28は本調査、H27はweb調査)																								
現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	50.3%	<table border="1"> <caption>生駒市への居住を人に薦めたい人の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>50.3</td> <td>50.9</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>53.7</td> <td>51.5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>62.7</td> <td>52.1</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>52.7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>-</td> <td>53.3</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	50.3	50.9	H27	53.7	51.5	H28	62.7	52.1	H29	-	52.7	H30	-	53.3	H31	-	-	
年度	現状値	目指す値																							
H26	50.3	50.9																							
H27	53.7	51.5																							
H28	62.7	52.1																							
H29	-	52.7																							
H30	-	53.3																							
H31	-	-																							
目標値	H31年度	53.3%																							
実績値	H28年度	62.7%																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標においても、市の魅力は確実に上昇しており、評価できる。</li> <li>・今後も多様な媒体を介して、生駒市の魅力を継続的に発信することを期待する。</li> </ul>
	2	6	1				

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して実施することで、最終的に子育て世代の転入に繋がるよう取り組まれない。</li> </ul>
------------------------	---

○評価結果

**B: 予定どおりの成果が得られた**

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる

3-2-1 まちの魅力発信

具体的な施策	施策名	子育て・教育環境の良さを効果的に発信【先行型対象】		
	施策内容	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力を、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるPRサイトの構築などで広く伝える。		
	取組状況 (H28年度)	PRサイトの運営の他に、本市のイメージを高め、ファンづくりを進めるため「IKOMA SUN FESTA」を実施。約40の事業者・市民活動団体が出店し、子育て世代を中心に8,000人以上が来場。また、子育て世代に共感を得るイベントなどを動画にしてPRした。		
	取組状況についての課題等	<p>[良かった点・悪かった点]</p> <p>行政施策を行政だけでPRするのではなく、まちの魅力を市民と共に発信する手法がファンの獲得につながっていると考えている。</p> <p>[H29年度の取組予定]</p> <p>PRサイトのメインコンテンツを家族の声から、市民活動を中心とした市の魅力紹介コーナーに変更予定。</p>		
主担当課		いこまの魅力創造課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	PRサイトユニークユーザー数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	
	目標値	H31年度	2,500人	
	実績値	H28年度	12,462人	
	指標名	子育て層の転入者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H25年度	1,179人	
	目標値	H31年度	1,238人	
	実績値	H28年度	1,010人	

具体的な施策	施策名	子育て関連のパンフレット・ホームページ作成																							
	施策内容	子育てに関する事業・施策の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成するなど、市内外への情報発信を行います。																							
	取組状況 (H28年度)	各事業についての個々の周知チラシ作成とともに、各課と連携した子育て関連のパンフレットを作成し市民周知を行った。 ホームページの内容充実とともにホームページへの導入窓口として電子版親子手帳を利用し、情報発信にも取り組んだ。																							
	取組状況についての課題等	[良かった点・悪かった点] 配布は施設配架だけでなく、家庭訪問時に渡すなどきめ細やかな周知に努めた。 [H29年度の取組予定] 年間4回の発行だった「たち通信 ぐーちょきぱー」を毎月発行する。																							
主担当課		子育て支援総合センター																							
重要業績評価指標 KPI	指標名	パンフレット配布部数																							
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	<table border="1"> <caption>パンフレット配布部数推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目指す値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1,000</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>600</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>800</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	現状値	目指す値	H26	0	0	H27	200	200	H28	1,000	400	H29	600	600	H30	800	800	H31	1,000	1,000
	年度	現状値	目指す値																						
	H26	0	0																						
H27	200	200																							
H28	1,000	400																							
H29	600	600																							
H30	800	800																							
H31	1,000	1,000																							
目標値	H31年度	1,000部																							
実績値	H28年度	1,000部																							

○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見
	2	2	5			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	(特段の意見なし。)
------------------------	------------

○評価結果

C:一定の成果が得られた

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

3-2 生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる

3-2-2 観光振興や広域交流の促進

具体的な施策	施策名	観光・交流の促進		
	施策内容	観光資源の整備や魅力のPR等に努め、生駒市に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。		
	取組状況 (H28年度)	市内で実施される行事やイベント等について、様々な媒体を使用して広報を行うとともに、他市のイベントにも参加してPRを実施		
	取組状況に ついての課題等	<p>[良かった点・悪かった点] 生駒市が行う観光PRについてはターゲットが明確でないことから、効果的なPRができていない。</p> <p>[H29年度の取組予定] 商工観光ビジョンに基づき、生駒市の観光のターゲットを明確にして取り組んでいく。</p>		
主担当課		経済振興課		
重要業績評価指標 KPI	指標名	観光地の来訪者数		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	163万人	
	目標値	H31年度	168万人	
	実績値	H28年度	161万人	



○総合戦略会議（全体会）からの平成 28 年度 of 取組状況に対する評価・コメント

参加者の 評価	A	B	C	D	E	進捗評価 について 主な意見	・市外からの観光客だけでなく、市内からの来訪者数を伸ばすためのPR方法等についても検討されたい。
		1	7	1			

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた  
D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

今後の取組 についての 参考意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力のある観光資源の掘り起こしや磨き上げが必要である。</li> <li>・誘客すべきターゲット層を明確にしたうえで、具体的な取組を策定する必要がある。</li> <li>・観光地ごとの滞在者を類型別に調べて、今後の対策を検討するべき。</li> </ul>
------------------------	--

○評価結果

C:一定の成果が得られた

# 附 属 資 料

## 1 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略〔平成27年(2015)年度―平成31(2019)年度〕(以下「総合戦略」という。)第1章の推進体制として掲げる生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議(以下「戦略会議」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(戦略会議の開催)

第2条 戦略会議は、総合戦略の進捗状況の検証を客観的に行う必要から、外部有識者等の意見を聴くために開催するものとする。

(参加者)

第3条 市長は、総合戦略を策定するに当たり開催した生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議開催要綱(平成27年5月27日施行)による生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議の参加者のうちから戦略会議への参加を求めるものとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、前項に規定する者以外の者に戦略会議への参加を求めることができる。

3 前2項に定めるもののほか、市長は、戦略会議の座長として学識経験のある者の参加を求めるものとする。

4 市長は、原則として、同一の者に継続して戦略会議への参加を求めるものとする。

(運営)

第4条 座長は、戦略会議を進行するものとする。

2 市長は、必要があると認めるときは、関係者に戦略会議への出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

3 市長は、必要があると認めるときは、戦略会議を部会に分けて開催することができる。

(開催期間)

第5条 戦略会議の開催期間は、総合戦略の進捗状況の検証が終了する時までとする。

(庶務)

第6条 戦略会議の庶務は、総合戦略を総括する課において処理する。

(施行の細目)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成28年3月9日から施行する。

2 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 参加者名簿

(全体会)

選出区分	氏名	所属母体・役職等
アドバイザー	ヒサ タカヒロ 久 隆浩	近畿大学 総合社会学部 教授
産業界	オオハラ サトシ 大原 暁	生駒商工会議所 専務理事
教育機関	レンゲ カズミ 蓮花 一己	帝塚山大学 学長
地域金融機関	タケモト カズヤス 竹本 和靖	(株)南都銀行 生駒支店 支店長
政府系金融機関	ウエムラ マコト 上村 誠	(株)日本政策金融公庫 奈良支店 支店長
労働団体	ナイトウ トシヒコ 内藤 利彦	連合奈良 西和地域協議会 議長
メディア	テツウ アツシ 鐵 東 敦史	(株)エヌ・アイ・プランニング 代表取締役
その他市長が必要と認める者	イシカワ チアキ 石川 千明	いこま育児ネット 元代表
	マエハラ カネイチ 前原 金 一	生駒市 市政顧問

### 3 生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価集約表

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁
1 子育てしやすいまち	1・1 子育て層の時間的なゆとりをつくる	1-1-1 保育園の新設・機能強化	111① 保育所の整備	増加する保育需要に対応するため、待機児童の多い地域を中心にその解消等に向けた保育所の整備を行います。また、地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	B	教育振興部	こども課	10
			111② 一時預かり保育等保育サービスの充実	保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。さらに、保育サービスの充実に向けた検討を行います。				11
			111③ 私立保育所の保育環境改善事業	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。				11
		1-1-2 幼稚園の保育機能の充実	112① 幼稚園での預かり保育の実施	多様な保育需要に対応するため、市立幼稚園における長時間預かり保育を行います。	B	教育振興部	こども課	14
			112② 幼稚園における幼保一体化の支援（幼稚園への保育機能の強化）	幼稚園において、多様化する保育ニーズに対応した保育機能を充実するため、認定こども園の整備を行うとともに、幼稚園と保育園、学校と連携した就学前教育に取り組みます。				14
			1-1-3 病児保育機能の強化	113① 病児保育等、病院への育児機能の導入	市立病院等における病児保育サービスを拡充します。	C	教育振興部	こども課
	1・2 コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる	1-2-1 子育て層を応援する情報提供の推進	121① 子育て層向けの情報発信	妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための講座開催とともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュール、子育て層が訪れやすい店舗や交流機会など、ITを利用した多様な情報の発信に取り組みます。	A	教育振興部 福祉健康部 総務部	子育て支援総合センター 健康課 情報政策課 こども課	18
			121② 赤ちゃんの駅普及啓発事業	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。				教育振興部
		1-2-2 子育て層の交流促進	122① 子育てサークルの支援	子育て層の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサークルによる活動の拡大等、子育て層同士の学び・交流の機会を充実します。	B	教育振興部	子育て支援総合センター	22
			122② パパのための子育てイベントの開催	男性の育児への積極的な参加を促すため、保育園や幼稚園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。				教育振興部
		1-2-3 地域で子育てを見守る体制の強化	123① 地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化	乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育園、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。	B	教育振興部 福祉健康部	子育て支援総合センター 健康課	24
		1-2-4 地域活動への参加機会の創出	124① ママのプロボノ活動促進事業	結婚や出産を機に退職した後、再就職を目指す女性や育児休業中の女性が、仕事で培った経験やスキルを活かしてプロボノ活動に参加することで、NPOの組織運営を支援するとともに、女性が社会貢献できる場を創出し、育児休業後のスムーズな職場復帰のサポートや再就職に向けたワーキングアップに取り組みます。		地域活力創生部	市民活動推進センター	26
	124② 新規NPOの立ち上げ支援		子育て層の社会参加の意欲を喚起し、地域社会の課題解決につながる活動に取り組もうとする新たなNPOの立ち上げに向けた支援や、活動推進に向けた基礎知識の習得、及びマネジメント等に向けた支援を行います。	B	地域活力創生部	市民活動推進センター	26	
	124③ NPOの広報活動の支援		子育てしながら、地域社会とのつながりを持った活動への参加を促進するため、からボート登録団体の活動内容のPRや、子育て層が気軽に参加できる団体実施事業の広報支援を行います。		地域活力創生部	市民活動推進センター	27	

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁	
1 子育てしやすいまち	1, 3 良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる	1-3-1 災害・犯罪等に対する安全性の向上	131①	公共施設の耐震化	耐震診断に基づく市庁舎の適切な耐震化の実施や、防災拠点における資機材整備を進めます。	B	総務部	防災安全課	29
			131②	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄	乳幼児をもつ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。		総務部	防災安全課	29
			131③	自主防災会の活動支援・促進	自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促し、事業者等の複数団体等との連携による防災訓練の実施や、市民団体等への防災訓練の支援を行います。		総務部	防災安全課	31
			131④	自主防犯活動支援・促進	犯罪の起こりにくい明るいまちづくり実現のため、自主防犯意識の高揚や防犯ネットワークの構築の推進など、地域による自主防犯活動を支援します。		総務部	防災安全課	31
		1-3-2 地球環境にやさしいエネルギー利用の推進	132①	再生可能エネルギー（太陽光発電等）の導入	官民連携のもと、市役所や市立病院等の公共施設を中心とした太陽光発電、蓄電池、コージェネレーションシステム等の導入に取り組みとともに、民間事業所等における再生可能エネルギーの導入促進に努めます。	B	地域活力創生部	環境モデル都市推進課	33
		1-3-3 住宅供給の推進	133①	既存住宅の流通支援	既存住宅流通等促進奨励金交付制度を創設し、既存住宅の流通を支援します。	C	都市整備部	建築課	35
			133②	既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進	耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。		都市整備部	建築課	36
		1, 4 子育ての不安を軽減する	1-4-1 子育て世帯への経済的支援	141①	医療費助成等	子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費の助成を中学校卒業までの子どもがいる家庭に拡充するとともに不育症に対する治療費の助成を行います。	B	福祉健康部	国保医療課 健康課
	141②			母子保健の充実	健やかな妊娠・出産を迎えるための妊婦一般健康診査の費用助成を行います。また、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などの事業により、育児支援を行います。	福祉健康部		健康課	39
	2 母親が希望のしごとをできるまち	2, 1 企業での多様な働き方を広げる	2-1-1 ワーク・ライフ・バランスの推進	211①	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発	仕事と育児の両立を促進するため、市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。	C	市民部 地域活力創生部	男女共同参画プラザ 経済振興課
211②				テレワークの推進	ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て層の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致、テレワークセンターの整備等を図り、テレワークの普及促進に取り組みます。	地域活力創生部		経済振興課	42
211③				女性の活躍推進	男女がそれぞれ、個性や能力を発揮した生きがいのある人生をおくれるよう、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組みます。	市民部 市長公室		男女共同参画プラザ 人事課	43
2, 2 市内産業の活性化		2-2-1 市内産業の活性化	221①	企業の誘致	工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、新たな企業誘致に取り組みます。	B	地域活力創生部	経済振興課	45
			221②	設備導入等支援事業	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。		地域活力創生部	経済振興課	45

[評価基準] A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁	
2 母親が希望のしごとをできるまち	2・3 子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境をつくる	2-3-1 ビジネスにつながる人的ネットワークの形成	231①	産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施	起業意欲のある女性（子育て層）によるビジネスの立ち上げを目指し、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を開催します。また、ビジネスプランコンテストを開催して、飛躍的な成長が期待できる起業者を認定し、集中的な育成支援を行います。	B	地域活力創生部	経済振興課	47
			232①	起業者を支援する体制づくり及び情報発信	ベルテラスいこまのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導等の包括的な起業者の育成支援を実施します。また、そうした支援を効果的に行うための情報発信やワンストップ窓口の設置、起業支援セミナーの開催などを行います。	B	地域活力創生部	経済振興課	49
			232②	起業支援スペース等の整備	店舗運営をしたい子育て層の女性起業家に対して、経営指導員等の専門家からのアドバイスを受けながら試験的に店舗を運営し、事業の実現性を高めていく支援を行う場として、起業支援スペース等を整備し、起業者をハード、ソフトの両面から支援していきます。		地域活力創生部	経済振興課	50
		232③	起業支援融資に係る利子補給	市内産業の活性化に向けて、市内起業家を対象とした、起業費用に対する低利融資・利子補給を行います。	地域活力創生部		経済振興課	50	
	2・4 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる	2-4-1 子育て支援に関する事業活動の創出	241①	地域型保育事業の整備	保育ニーズの高い地域を対象として、待機児童を解消するため、空き家等も活用した地域型保育事業の積極的な展開を進めます。	B	教育振興部	こども課	52
			241②	ファミリーサポート事業の需要・供給両面からの利便性向上	ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。		教育振興部	子育て支援総合センター	52
		2-4-2 介護・福祉分野における事業活動の創出	242①	介護関係資格取得費の支援	市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行います。	C	福祉健康部	介護保険課	54
			242②	地域密着型サービス事業所の整備	住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます。		福祉健康部	介護保険課	55
		2-4-3 食に関する地域産業の創出	243①	新規就農の支援	農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。	B	地域活力創生部	農業委員会事務局	57
	243②		農産物の加工・特産品の開発支援	農家と地元飲食店との交流機会の創出や、空き農地を活用した生駒市ならではの農作物や果樹の栽培などの取組の中から、農産物の加工、特産品の開発への支援を進めます。	地域活力創生部		経済振興課	57	
	243③		地産地消の推進	黒大豆をはじめ学校給食用食材の安定供給に向けた生産拡大を進めるとともに、地場農産物の販売コーナーの設置などに取り組みます。	地域活力創生部		経済振興課	58	

[評価基準]A:高い成果が得られた B:予定どおりの成果が得られた C:一定の成果が得られた D:やや不十分な成果にとどまった E:成果は不十分もしくは見られなかった

基本目標	基本的方向	具体的施策	施策名	施策内容	評価	担当部	担当課	該当頁			
3 子育て層（特に女性）が転入したいまち	3・1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり	3-1-1 イベントの開催	311① イコマニア100の実施	市主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア」として認定し、情報発信することで、楽しいまちづくりを実現し、子育て世帯の定住や転入に繋げる。	B	地域活力創生部	市民活動推進課	60			
		3-1-2 文化芸術活動やスポーツ・レクリエーション活動への参加機会の創出	312①	文化芸術活動への参加機会の創出	小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て層の文化芸術活動への参加を促進する。	B	生涯学習部	生涯学習課	62		
			312②	子どもを対象としたスポーツイベントの開催	子どもの体力向上を目指すため、子どもを対象としたスポーツイベントを開催する。				生涯学習部	スポーツ振興課	62
			312③	トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催	市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催する。				生涯学習部	スポーツ振興課	63
	3・1 子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり	3-1-3 教育環境の充実	313①	学校図書館司書の配置の拡充	学校図書館の利用を促進し、市立図書館との連携を深めることで、子どもの読書を促進し、読書の楽しさや大切さを伝えるため、小中学校に図書館司書を配置します。	B	教育振興部	教育指導課	66		
			313②	高山スーパースクールゾーン構想	市内初の施設一体型小中一貫校（生駒北小中一貫校）を新設し、9年間を見通した教育課程の作成や、奈良先端科学技術大学院大学との連携事業など特色ある先進的な教育プログラムを実践します。また、就学前の教育、保育を総合的にサポートするため、幼保連携型認定こども園を開園します。				教育振興部	教育総務課 教育指導課 こども課	67
			313③	夢を与える講演会・学校創造推進事業	各界で活躍する方（経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか）を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。				教育振興部	教育指導課	68
	3・2 生駒を向上させや都市ブランド力	3-2-1 まちの魅力発信	3-1-4 協働による魅力創造	314① 生駒の魅力発信プロジェクト	市民PRチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいいまちだ」と言うロコミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。	B	地域活力創生部	いこまの魅力創造課	70		
			321①	子育て・教育環境の良さを効果的に発信	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力や、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるPRサイトの構築などで広く伝える。	C	地域活力創生部	いこまの魅力創造課	72		
	321②	子育て関連のパンフレット・ホームページ作成	子育てに関する事業・施策の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成するなど、市内外への情報発信を行います。	教育振興部	子育て支援総合センター				73		
3-2-2 観光振興や広域交流の促進	322①	観光・交流の促進	観光資源の整備や魅力のPR等に努め、生駒市に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。	C	地域活力創生部	経済振興課	75				



